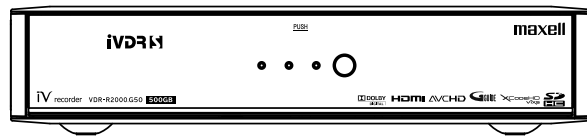
maxell

取扱説明書 保証書付

iVDR レコーダー

(地上・BS・110 度 CS デジタル対応)

形名

VDR-R2000.G50 / VDR-R2000ND1PW / VDR-R2000

このたびは iVDR レコーダーをお求めいただき、ありがとうございました。
本書は、各モデルの共通の取扱説明書となっています。それぞれの機種特有の取り扱いについては、VDR-R2000.G50、VDR-R2000ND1PW、VDR-R2000 と表記しています。
本文中のイラストは、主に VDR-R2000.G50 で説明しています。

HDD（ハードディスク）は一時的な保管場所です。万一何らかの不具合により、録画や再生ができなかった場合、HDD の内容 (録画済みの番組データなど) の補償や損失、直接・間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねます。

最初に この取扱説明書に記載の「使用上のご注意」をお読みください。
本体の取扱いは、この取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。
取扱説明書と保証書は大切に保管してください。

はじめに / 接続する / テレビを楽しむ / 番組を録画・予約する / 録画番組・写真などを楽しむ / インターネットサービスを楽しむ / AVネットワークを楽しむ / お好みや使用状態に合せて設定する / 個別に設定したいとき / 困ったときは / その他

特 長

デジタル放送を内蔵のハードディスク（HDD）に録画、再生して楽しめる
500GB HDD 内蔵（VDR-R2000.G50 / VDR-R2000ND1PW)
250GB HDD 内蔵（VDR-R2000)

ハイビジョン放送をたっぷり録れる 8 倍録画
XCodeHD

出し入れ自由なハードディスク対応スロット
iV ポケット搭載

地上・BS・110 度 CS のデジタル放送を 2 つのチューナーで受信
デジタル放送を視聴しながら別のデジタル放送を裏番組録画
デジタルハイビジョンチューナー内蔵
（CATV パススルー対応）

アクトビラなどのネットサービス対応
ネット TV 対応

ご家庭内の視聴スタイルを広げる
AV ネットワーク対応

SD メモリーカードスロット装備

本書の見かた

この説明書は、主に下記の内容で構成されています。

使用しているアイコンについて

⚠注意 安全上、守っていただきたいことを記載しています。

お守りください 操作上、守っていただきたいことを記載しています。

お知らせ 操作上、知っておいていただきたいことを記載しています。

メ モ 知っていると便利な操作・解説を記載しています。

マークは、参照ページを表しています。

リモコンのカーソルボタンの記号について

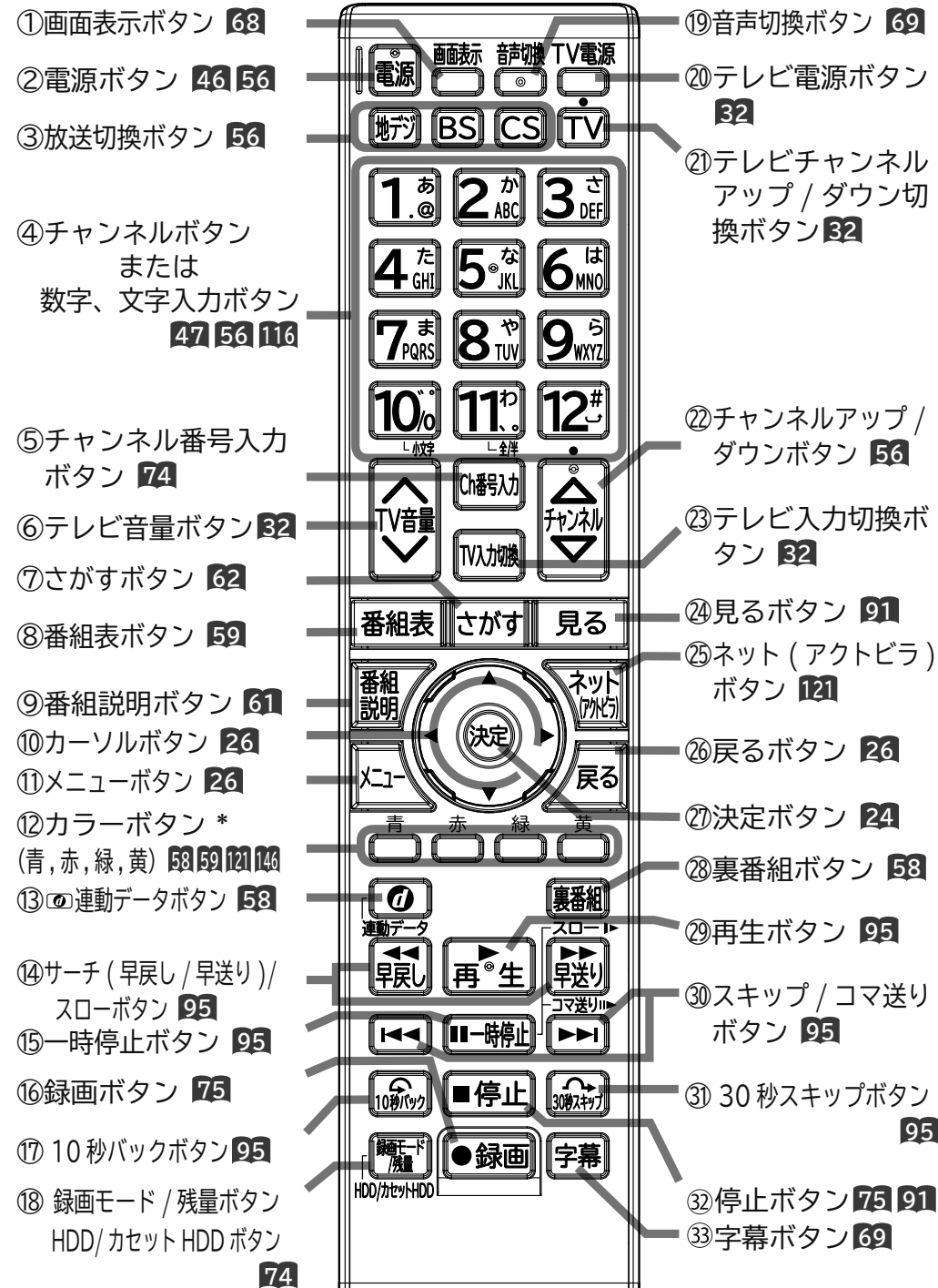
カーソルボタンの押す方向を下図のように表して説明しています。

- 上下左右方向の操作
- 左右方向の操作
- 上下方向の操作
- 左方向の操作
- 上方向の操作
- 右方向の操作
- 下方向の操作
- ／決定 右方向または決定の操作
- ／決定 左方向または決定の操作

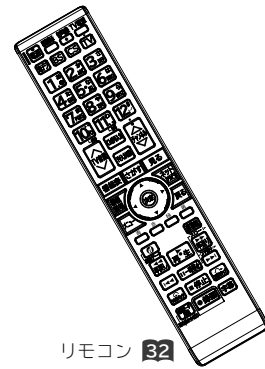
各ページの見かたについて

リモコンボタン配置が記載された表紙の折り返し部分を開き、各ページをご覧ください。

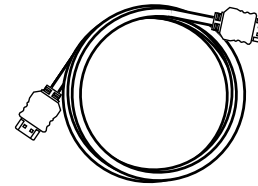
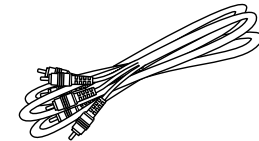
リモコンボタン配置

①画面表示ボタン 68
②電源ボタン 46 56
③放送切換ボタン 56
④チャンネルボタン または 数字、文字入力ボタン 47 56 116
⑤チャンネル番号入力ボタン 74
⑥テレビ音量ボタン 32
⑦さがすボタン 62
⑧番組表ボタン 59
⑨番組説明ボタン 61
⑩カーソルボタン 26
⑪メニューボタン 26
⑫カラーボタン *（青，赤，緑，黄）58 59 121 146
⑬ⓓ連動データボタン 58
⑭サーチ (早戻し / 早送り)/ スローボタン 95
⑮一時停止ボタン 95
⑯録画ボタン 75
⑰ 10 秒バックボタン 95
⑱ 録画モード / 残量ボタン HDD/ カセット HDD ボタン 74
⑲音声切換ボタン 69
⑳テレビ電源ボタン 32
㉑テレビチャンネルアップ / ダウン切換ボタン 32
㉒チャンネルアップ / ダウンボタン 56
㉓テレビ入力切換ボタン 32
㉔見るボタン 91
㉕ネット (アクトビラ) ボタン 121
㉖戻るボタン 26
㉗決定ボタン 24
㉘裏番組ボタン 58
㉙再生ボタン 95
㉚スキップ / コマ送りボタン 95
㉛ 30 秒スキップボタン 95
㉜停止ボタン 75 91
㉝字幕ボタン 69

* カラーボタンは、本書内の説明では、それぞれ下記のような表記になっています。
青　赤　緑　黄

付属品について

付属品をご確認ください。万一不足しているものがあれば、販売店にご連絡ください。
■取扱説明書および保証書 (本書) は、よくお読みになって内容をご理解の上、いつでも確認できるところへ大切に保管してください。

リモコン 32
単 4 形乾電池 32（2 本）

取扱説明書（本書）……………1 冊

B-CAS（ビーキャス）カード (赤色) 36

HDMI ケーブル 37
(VDR-R2000.G50 / VDR-R2000ND1PW のみ)

映像・音声コード 38
(VDR-R2000 のみ)

もくじ

はじめに

特長 …… 2
本書の見かた …… 2
リモコンボタン配置 …… 3
付属品について …… 4
もくじ …… 5
使用上のご注意 …… 8
　安全上のご注意 …… 9
　お守りください …… 15
　お知らせ …… 16
　留意点 …… 20
HDD/ カセット HDD(iV) について …… 21
リモコンボタンのなまえと働き …… 22
本体各部のなまえ …… 23
メニュー機能の使いかた …… 24

接続する

もくじ …… 27
設置と準備の進めかた …… 28
　地上デジタル放送について …… 29
　地上デジタル放送についてのお問い合わせ先 …… 29
据え付けについて …… 30
　据え付けるときのご注意 …… 31
リモコンを準備する …… 31
　リモコンでテレビを操作できるようにする …… 32
アンテナと接続する …… 33
　地上デジタル放送用 UHF アンテナの接続 …… 33
　きれいな映像を楽しむために …… 34
　CATV ケーブルと接続するときの
　　地上デジタル放送受信について …… 34
　BS/CS アンテナの接続 …… 35
B-CAS カードを挿入する（重要） …… 36
テレビに接続する …… 37
　テレビの入力端子を確認する …… 37
LAN インターフェースと接続する …… 39
　インターネット環境の準備 …… 39
　既存接続環境の確認 …… 40
　接続例 …… 41
光デジタル音声入力端子付きオーディオ機器と接続する …… 44
電源プラグを接続する …… 45
電源を入れる …… 46
　電源を入れる …… 46
　すぐに操作できるようにする（高速起動） …… 46
かんたんセットアップをする …… 47
　郵便番号を設定する …… 47
　地上デジタルの受信設定をする …… 48
　BS の受信設定をする …… 49
　ソフトウェア更新設定をする …… 49
　日付・時刻の設定をする …… 49
　かんたんセットアップの終了 …… 49
カセット HDD(iV) の取り扱い …… 50
　カセット HDD(iV) とは …… 50
　カセット HDD(iV) を挿入口に入れる …… 50
　カセット HDD(iV) の取出方法 …… 51
SD メモリーカードの取り扱い …… 52
　SD メモリーカードを入れる …… 52
　SD メモリーカードの抜きかた …… 52
接続するテレビに合わせて設定する …… 53

テレビを楽しむ

もくじ …… 55
テレビ放送を見る …… 56
　データ放送を見る …… 58
　裏番組をチェックする …… 58
電子番組表 (G ガイド) でお好みの番組を選ぶ …… 59
番組説明を見る …… 61
番組検索 (さがす) でお好みの番組を選ぶ …… 62
　おすすめ番組一覧でさがす …… 63
　注目番組一覧でさがす …… 63
　ジャンル、出演者、キーワード、
　　お好みで番組をさがす …… 64
複数の映像、音声からお好みのものを選ぶ …… 67
番組タイトルやチャンネル番号などを知りたいとき …… 68
ステレオや 2 ヶ国語音声に切り換える …… 69
字幕放送を見るには …… 69
インフォメーションを確認する …… 70
　お知らせ・ボードを見る …… 70
　カード情報を見る …… 70

番組を録画・予約する

もくじ …… 71
録画する …… 72
　録画について …… 72
　時間を指定して録画する（クイックタイマー録画） …… 74
　途中でクイックタイマー録画をやめるには …… 75
録画予約する …… 76
　番組表や番組検索 (さがす) から番組を予約する …… 76
　番組表や番組検索 (さがす) から一発録画予約する …… 79
　検索した番組を自動的に録画したいとき …… 80
　マニュアル予約する …… 81
　予約の確認、取り消しをする …… 85

録画番組・写真などを楽しむ

もくじ …… 87
録画した番組を見る …… 88
　録画番組一覧画面について …… 88
　ダウンロードコンテンツ一覧画面について …… 90
　見る一覧画面から選ぶ …… 91
　プレイリストから選ぶ …… 92
　ライブラリ情報を見る …… 92
　いいとこジャンプで場面を探す
　　（オートチャプター機能） …… 93
　映像を見ながら場面を探す（タイムナビ） …… 94
　番組を録画しながら再生する（追いかけ再生） …… 94
　いろいろな再生のしかた …… 95
録画した番組を編集する …… 96

もくじ（つづき）

録画番組を 2 つに分ける（番組分割） 96
お好みの場面をサムネイルに設定する 96
チャプターを設定する 98
録画した番組のタイトルを変更する 99
プレイリストを作成、編集する 99
録画した番組をダビングする 102
ダビングする 102
写真・ビデオを見る 105
写真を見る 105
スライドショーを表示する 106
デジタルハイビジョンビデオカメラの動画を見る 107
SD メモリーカードから写真を取り込む 108
その他の編集・設定について 109
削除ロックを設定する 109
番組・画像を削除する 109
複数の番組・画像を削除する 110
フォルダに登録する 111
フォルダ名を変更する 112
フォルダを追加・削除する 113
カセット HDD(iV) のタイトルを編集する 114
文字を入力する 115
入力エリアの表示と操作 115
数字キー方式で文字を入力する 116
ソフトキーボードで文字を入力する 117

インターネットサービスを楽しむ

もくじ 119
インターネットについて 120
インターネット概要 120
アクトビラについて 120
インターネットを始めるには 121
ブラウザメニューを使うには 123
ブラウザメニューを選択するには 123
アドレスを入力してホームページを表示するには 124
お気に入りのホームページアドレスを登録するには 125
お気に入りに登録したホームページを選択するには 125
ご覧になったホームページの履歴から選択するには 126
お気に入りの編集 126
ポインター機能を使う 128
検索機能を使う 128
ブラウザのより高度な操作 129
表示詳細設定 130
セキュリティ設定 131
アクトビラを楽しむ 132
アクトビラを見るには 133
映像コンテンツ再生中の操作について 134
アクトビラ ビデオ ダウンロード型サービスについて 136

AV ネットワークを楽しむ

もくじ 137
AV ネットワーク概要 138
ホームネットワーク 138
DLNA 139
本機のホームネットワーク機能 139
接続機器について 139
AV ネットワークサーバー 140
サーバー機能を設定する 140
サーバー名を設定する 142
公開先のプレーヤー機器を設定する 143
AV ネットワーク再生機能 144
再生可能なファイル形式について 144
AV ネットワークの起動 145
AV ネットワーク画面について 146
AV ネットワーク画面に表示される
フォルダおよびファイル構成について 147
AV ネットワーク画面を操作する 148
表示方法を変える 149
サムネイル表示ファイルおよびフォルダを選ぶには 149
ファイルを選択したあとでできること 150
ファイルを再生または表示する 151
フォルダ内の音楽を全曲再生する 151
スライドショーを再生する 152
スライドショーの詳細を設定する 153
スライドショー再生中に音楽も同時に再生する 154
映像／音楽ファイル再生中の操作について 156
静止画ファイル表示中や
スライドショー再生中の操作について 156
再生状態 / 再生中のファイルの
詳細説明の操作について 157
音楽ファイル再生中の背景を設定する 157

お好みや使用状態に合わせて設定する

もくじ 159
音声をお好みに合わせて設定する 160
消費電力を低減する 161
番組検索 (さがす) を設定する 162
おすすめ番組機能の初期設定について 162
おすすめ番組機能の設定／確認をする 163
お好み検索を設定／変更する 164
検索範囲を設定する 166
インターネット制限 / 視聴制限の設定 167
インターネット制限 / 視聴制限を設定する 167
放送時間変更対応、未読お知らせ表示などの設定 168
緊急警報放送を受信できるようにする 169
すぐに操作できるようにする（高速起動） 170
リモコンコードを変更する 171

個別に設定したいとき

もくじ 173
お住まいの地域に合わせて受信設定をする 174
郵便番号を設定する 174
地上デジタル放送の受信設定 175
地域名によるチャンネルの合わせかた 175
地上デジタル放送地域名一覧表 176
マニュアルで CH ボタンの登録を変更する 178
チャンネルを飛び越し選局したいとき 179
受信周波数変更を設定する 180
映像が不安定になるとき 180
BS・CS デジタル放送の受信設定 181
マニュアルで CH ボタンの登録を変更する 181
チャンネルを飛び越し選局したいとき 182
受信設定を変更する 182

アンテナの設定を変更する …………………………… 183
ソフトウェア更新を設定する ………………… 184
ISP（プロバイダー）を設定する…………………… 185
手動で設定するには ……………………………… 185
LAN 接続機器との接続確認をする …………… 187
通信テストについて …………………………… 188
時刻を設定する ………………………………… 189
HDD/ カセット HDD(iV) を設定する ……… 190
インターネット、登録データ、
受信設定などを初期化したいとき… 191

困ったときは

もくじ …………………………………………… 193
故障かな？と思ったら ………………………… 194
メッセージ表示一覧 …………………………… 215

その他

もくじ …………………………………………… 223
デジタル放送について ………………………… 224
受信契約について ……………………………… 225
B-CAS カードによる限定受信システム (CAS) のしくみ 225
BS デジタル放送の有料放送視聴の手続きについて… 226
110 度 CS デジタル放送の有料放送視聴の手続きについて … 227
用語解説………………………………………… 228
メニュー階層 …………………………………… 230
Quick Reference ……………………………… 232
Remote Control Buttons and Functions 232
Basic Operations……………………………… 233
仕様 …………………………………………… 234
外形寸法について ……………………………… 235
ソフトウェアのライセンス情報 ……………… 236
アフターサービスについて (必ずご覧ください) … 244
お客様ご相談センター ………………………… 245
お問い合わせ診断シート ……………………… 246
索引 …………………………………………… 247

はじめに
接続する
テレビを楽しむ
番組を録画・予約する
録画番組・写真などを楽しむ
インターネットサービスを楽しむ
AVネットワークを楽しむ
お好みや使用状態に合せて設定する
個別に設定したいとき
困ったときは
その他

使用上のご注意

商品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示・図記号）を理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示について

	警 告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、 人が死亡または重傷＊1を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注 意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、 人が軽傷＊2を負う可能性が想定される内容および物的損害＊3のみの発生が想定される内容を示しています。

＊１：重傷とは、失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒など後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要すものをさしています。
＊２：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさしています。
＊３：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさしています。

図記号の例

 気をつけなければならない。「注意」を示します。

 感電に気をつけなければならない。「感電注意」を示します。

 してはいけない。「禁止」を示します。

 必ず行う。「強制」を示します。

安全上のご注意

●イラストはイメージであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

異常や故障のとき

⚠警告

■煙が出ている、異臭や音がするときは、すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜く

異常のまま使用すると、
火災・感電の原因となります。
煙が出なくなることを確認して
販売店に修理をご依頼ください。

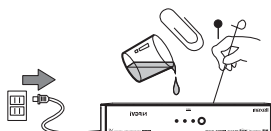
電源プラグをコンセントから抜く

■画面が映らない、音が出ないなどの故障の場合には、すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜く

それから販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると
火災・感電の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜く

■内部に水や異物などが入った場合は、すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜く

それから販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意ください。

電源プラグをコンセントから抜く

■本機を落としたり、破損した場合は、すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜く

それから販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜く

使用上のご注意（つづき）

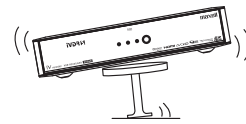
設置するとき

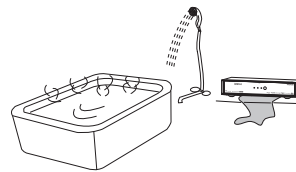
⚠警告

■電源プラグをすぐに抜くことができるように本機を据え付ける

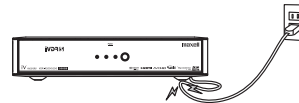
本機が異常や故障となったとき、
電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと、
火災・感電の原因となることがあります。
本機は電源が「切」の状態でも、微弱な電流が流れています。

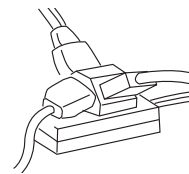
■ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■水まわり (風呂、シャワー室) など水滴がかかる場所で使用しない

火災・感電の原因となります。

風呂場やシャワー室での使用禁止

■電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない

コードに傷が付いて、火災・感電の原因となります。
コードを敷物などで覆ってしまうと、
気付かずに重い物をのせてしまうことがあります。

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流 100V（50/60Hz）以外では使用しない

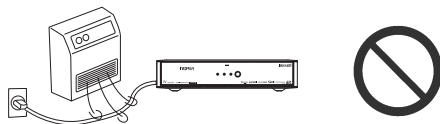
●たこ足配線など、定格を超えると発熱により、
火災・感電の原因となります。
●表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。

設置するとき（つづき）

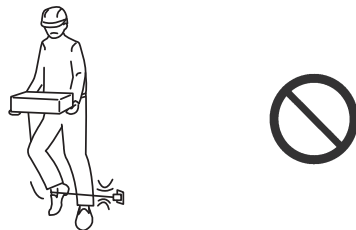
⚠注意

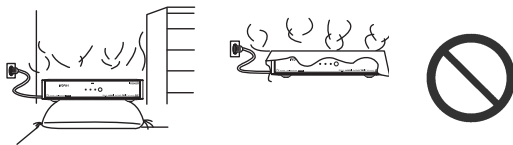
■湿気やほこりの多い場所、調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所やエアコンの下など、水滴が落ちる場合のある場所に置かない

●火災・感電の原因となることがあります。

■電源コードを熱器具に近づけない

コードの被ふくが溶けて、
火災・感電の原因となることがあります。

■移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
●アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。

■本機の通風孔をふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。
特に次のような使い方はしない。故障の原因となります。
●本機を上向きや横倒し、下向きにする。
●押入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
●じゅうたんや布団の上に置く。
●テーブルクロスなどを掛ける。

■本機を医療機器の近く（同部屋）には設置しないでください

医療機器の誤動作の原因となることがあります。

■アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください

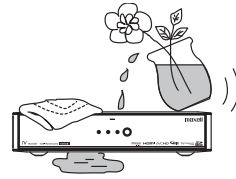
●送配電線から離れた場所に設置する。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。
● BS、CS 放送受信用アンテナは、強風の影響を受けやすいので、堅固に取り付ける。

使用上のご注意（つづき）

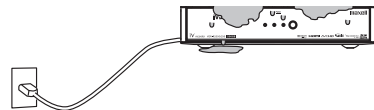
使用するとき

⚠警告

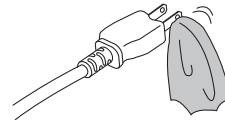
**■本機の上に花びん、植木鉢、コップ、
化粧品、薬品や水などの入った容器を置かない**

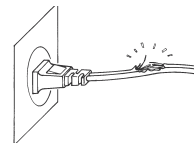
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

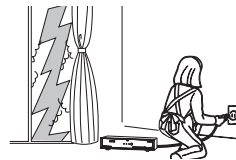
■本機に水をこぼしたり、ぬらしたりしない

火災・感電の原因となります。
●雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

水ぬれ禁止

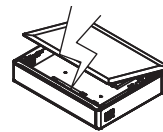
**■電源プラグの刃および刃の付近にほこりや
金属物が付着している場合は、
電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除く**

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
定期的（年に１回くらい）に清掃してください。

**■電源コードを傷つけたり、加工したり、
無理に曲げたり、ねじったり、
引っ張ったり、束ねたり、加熱したりしない**

コードが破損して、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。

**■雷が鳴り出したら、アンテナ線や
電源プラグには触れない**

感電の原因となります。

接触禁止

**■本機のトップカバーは開けない
本機を分解、改造しない**

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

分解禁止

■カセット HDD 挿入口のドア内に指などを入れない

ドア内、ガイド部等には突起があり、突起に触れたり、
ドアに指を挟んだりすると、けがの原因となることがあります。

■ SD メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

●誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
●万一、飲み込んだと思われるときは、ただちに医師の治療を受けてください。

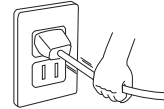
使用するとき（つづき）

⚠注意

■電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱したり、
ほこりが付着して火災の原因となることがあります。
また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

■電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

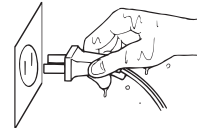
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

■電源プラグは根元まで差し込んでも
ゆるみがあるコンセントに接続しない

発熱して火災の原因となることがあります。
販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

■本機の上に乗らない

特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

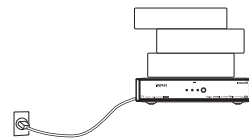
■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

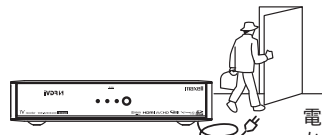
感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

■機器の近くにローソクなどの裸火を置かない

火災・感電の原因となることがあります。

■本機の上に重い物を置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、
けがの原因となることがあります。

■旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、
安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く

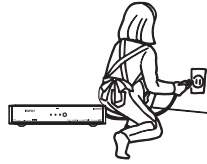
火災の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

使用上のご注意（つづき）

お手入れするとき

⚠注意

■お手入れの際は、安全のため電源プラグを
コンセントから抜いて行う

感電の原因となることがあります。

■年に一度くらいは、内部の掃除を販売店などにご相談ください

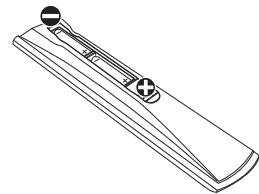
本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

電池についての安全上のご注意

液もれ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記注意事項を必ずお守りください。

⚠警告

■間違った電池の使い方をしない

●極性表示（プラスとマイナスの向き）に注意し、表示どおりに入れてください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

●乾電池は充電しないでください。
●指定以外の電池は使用しないでください。
●新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
●火、水の中に入れないでください。
●分解、加熱しないでください。
●コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しないでください。
●液漏れした電池は使わないでください。
●使いきった電池は取り外してください。長期間使用しないときも取り外してください。
電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

⚠注意

■電池が液もれしたときは、素手で液をさわらないでください

●液が目に入ったときは、失明の原因になることがありますので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、速やかに医師の診断を受けてください。
●液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になることがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
●皮膚に炎症やけがの症状が現われたときには、ただちに医師の治療を受けてください。

使用上のご注意（つづき）

お守りください

■高温になるところに置かないでください

直射日光が当たる場所や熱器具の近くなどに設置されると、変形・変色など悪い影響を与えますのでご注意ください。

■超音波式加湿器のそばに置かないでください

超音波式加湿器をご使用の場合、水質によっては水道水に含まれるカルキやミネラル成分がそのまま霧化され、本機内部に白い粉状のものが入り込んで故障の原因になる恐れがありますのでご注意ください。

■ SD メモリーカード挿入口に異物を挿入しないでください

SDメモリーカード以外のものを挿入しないでください。また、コインなどの金属物や異物を挿入しないでください。故障や破損の原因となります。 microSD メモリーカードをご利用の場合は、SD メモリーカード変換アダプターに装着してご利用ください。

■ B-CAS カード挿入口に異物を挿入しないでください

B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。また、コインなどの金属物や異物を挿入しないでください。故障や破損の原因となります。

■輸送する場合は、必ず本機用の梱包箱・クッションをご使用ください

●引越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱とクッション材をご使用ください。

●立てて輸送はしないでください。

■乾電池を廃棄する場合は、プラス・マイナス端子に絶縁テープを貼るなどして絶縁状態にしてから「所在自治体の指示」に従って廃棄してください

他の金属片等導電性のあるものと一緒に廃棄したりするとショートして、発火、破裂の原因となることがあります。

■お手入れの際、アルコール、ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。

●本機をアルコール、ベンジン、シンナーなどで拭いたり、殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはがれるなどの原因となります。

●操作パネル部分の汚れは、柔らかいきれいな布 (生地の表面が起毛された綿素材など) で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときには、水で 100 倍以上に薄めた中性洗剤に布をひたしよく絞ってから拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
特に、次の洗剤などは亀裂や変色、傷付きの原因となりますので使用しないでください。
・酸・アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、みがき粉、粉石鹸、OA クリーナー、カーワックス、ガラスクリーナー類、化学ぞうきんなど

■洗剤を直接本機にかけないでください。

水滴が内部に入ると、故障の原因になります。

お知らせ

■本機の温度について

本機は、長時間使用したときなどに、上部や底部が熱くなる場合があります。手で触れると熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。また、熱で変形しやすいもの（オーディオテープ、ビデオテープなど）を上に置かないでください。

■冷却ファンについて

本機には冷却ファンが内蔵されています。動作中はファン動作音が聞こえますが、故障によるものではありません。

■天候不良によって、画質、音質が悪くなる場合があります

雨の影響により衛星からの電波が弱くなっている場合は、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えます。（降雨対応放送が行われている場合）降雨対応放送に切り換わったときは、画面にメッセージが表示されます。

降雨対応放送では、画質や音質が少し悪くなります。また、番組情報も表示できない場合があります。

■ 110 度 CS デジタル放送をご覧になるには

110 度 CS デジタル放送に対応したアンテナが必要です。また、ブースターや分配器などをご使用の場合は、2150MHz またはそれ以上の周波数対応の伝送機器が必要です。詳しくは販売店にご相談ください。

■アンテナの点検・交換について

アンテナは風雨にさらされるため、美しい画像でお楽しみ頂くためにも点検・交換することをおすすめします。
特に、煤煙の多い所、潮風にさらされる所では、アンテナが早く傷みますので、映りが悪くなった場合は、販売店にご相談ください。

■操作できなくなった場合は

受信異常などにより、本機の操作ができなくなった場合は、本体の電源ボタンを 5 秒以上押してから再度電源ボタンを押してください。

■ラジオについて

本機の近くでラジオを使用しますと、ラジオの音声に雑音が入る場合があります。本機より離してご使用ください。

■本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください

本機の受信周波数帯域（470MHz ～ 2072MHz）に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。また、アンテナの接続時にアンテナケーブルや分配器、分波器などの機器を使用する場合は、共聴用のものをご使用ください。

使用上のご注意（つづき）

お知らせ（つづき）

■本機に記憶される個人情報などについて

- 本機には、放送局とデータの送受信を行うために入力したお客様の個人情報が記録されます。また、インターネットを利用したネットワークサービス（アクトビラなど）をご利用の場合、各サービスが使用するお客様ごとの識別情報などが本機のメモリーに記録されます。本機を廃棄、譲渡する場合には「設定の初期化」191 を実施して、本機内のメモリーに記録されているデータを消去することを強くお勧めします。
- お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気などのノイズの影響を受けたとき、または故障、修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータなどが変化、消失する恐れがあります。これらの場合の損害や不利益について、当社は何ら責任を負うものではありません。

■インターネットへの接続について

地上・BS デジタル放送では、インターネット網への接続により、さらに多様な双方向データサービスを利用することができます。本機で、このサービスを利用するには、常時接続の回線業者やインターネットサービスプロバイダーとの契約が必要です。インターネット網への接続をしていないと、双方向データサービスを利用できない場合があります。

■インターネット機能について

インターネットを利用してネットワークサービス（アクトビラなど）を受けるには、ブロードバンド環境が必要です。ブロードバンド環境をお持ちでない場合は、インターネット回線事業者および接続業者（プロバイダー）との契約が必要です。

■本機の電源プラグは常時コンセントに接続しておいてください

長期間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は、本機の電源プラグをコンセントから抜いたままにしないでください。本機は電源オフ（スタンバイ）状態でも、自動的にデジタル放送の情報を受信したり、ソフトウェア更新のためダウンロードを行ったりする場合があります。また、家庭内ネットワーク（DLNA）で楽しむ場合は、本機はホームサーバーとして動作しますので、電源オフ（スタンバイ）状態でも自動的に映像などを配信することができます。

■ダウンロードについて

放送運用などに変更が生じた場合、本機のソフトウェアを更新して対応させるために、放送によるダウンロードサービスを行ないます。このサービスを受けるには、ご使用にならないときは、リモコンで電源を切った状態にしておくことをお勧めします。電源プラグを抜いた場合はこのサービスを受けられません。

■インターネットの接続状況について

インターネット接続のためにお客様がご利用になっている機器や、お客様がご契約になっているインターネット網への接続方法によっては、サービスが必要としている通信速度を得られず、十分なサービスを享受できない場合があります。また、各サイトのアクセスの状況や、回線の状況により通信速度が変化することもあります。

■インターネットのサイトやサービスについて

インターネットのサイトや、インターネットで提供される各種サービスは、ご自身で判断してお使いください。お客様が本機を使用してインターネットへのアクセスやインターネット上のサービスをご使用になられて発生した被害や損害についての補償や損失、直接・間接の損害について、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

■お客様の宅内のネットワーク機器との接続について

本機の DLNA 機能を使い、お客様の宅内ネットワーク機器と接続することができますが、本機の動作状況や能力、お客様の機器の動作状況や能力、ネットワークの状況により十分な視聴ができない場合があります。

■ SD メモリーカードについて

本機に挿入された SD メモリーカードに保存、記憶されているデータは、本機の操作を誤った場合や静電気などのノイズの影響を受けた場合、消失する恐れがあります。このような場合や万一何らかの不具合により、データが消失した場合の補償や損失、直接・間接の損害について、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。大切なデータは、他のメディアにバックアップを取っておくことをおすすめします。

お知らせ（つづき）

■ライセンス等について

● 日本語変換には、オムロンソフトウェア (株) のモバイル Wnn を使用しています。
●「iVDR」と iVDR S は、「iVDR 技術規格」に準拠することを表す商標です。
● SDHC ロゴは商標です。
● HDMI、HDMI ロゴおよび High-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における、HDMI Licensing、LLC の商標または登録商標です。
●「AVCHD」と「AVCHD」ロゴは、パナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
● acTVila アクトビラ および「acTVila」、「アクトビラ」は、株式会社アクトビラの商標または、登録商標です。
●ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
● DLNA、DLNA ロゴおよび DLNA CERTIFIED は、Digital Living Network Alliance の登録商標です。
●本製品には「DiXiM® SDK」を使用して開発された AV ネットワーク機能を搭載しています。DiXiM は、株式会社デジオンの登録商標です。
●この製品には OpenSSL Toolkit における使用のために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。
This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)
●この製品には Eric Young によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。
This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
● Entier(エンティア) は、㈱日立製作所の日本国およびその他の国における商標です。
●ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、および G ガイドロゴは、米国 Rovi Corporation および / またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
G ガイドは、米国 Rovi Corporation および / またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
米国 Rovi Corporation およびその関連会社は、G ガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、G ガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
●本製品は、Rovi Corporation が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。分解や改造することは禁止されています。
● AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE
THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM

お知らせ（つづき）

● expat

本ソフトウェアは、expat (http://expat.sourceforge.net/) を使用しています。
この expat は MIT License によって配布されています。
以下は、MIT License によって義務付けられている著作権表示およびライセンス文、免責条項です。

留意点

■付属のB-CAS(ビーキャス)カードは、デジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与された大切なカードです。破損や紛失などの場合は、ただちにB-CAS(ビーキャス)「(株)ビーエス・コンディショナル アクセス システムズ」カスタマーセンターへご連絡ください。お客様の責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。

■万一、本機の不具合により録画ができなかった場合や、インターネットのサービスが受けられなかった場合の補償についてはご容赦ください。

■お客様がカセット HDD に録画したものやインターネットのサービスで取得した映像や音声などのコンテンツは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

■国外でこの製品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料サービス契約上禁止されています。

■この説明書に記載の画面イラストは、実際に表示される画面と異なる場合があります。チャンネル番号、チャンネル名、番組名などを含め、実際に表示される内容については画面でご確認ください。

■本機の仕様および機能などは、ダウンロードなどにより変更することがあります。

■ダウンロードとは、デジタル放送を受信してダウンロードデータを取り込み、本機のプログラムを最新のものに書き換える機能です。お買上げ時はダウンロードを「自動」で行う設定になっています。「しない」設定にもできますが、最新のプログラムでお楽しみいただくため、通常は「自動」の設定でご使用ください。

HDD/ カセット HDD（iV）について

重要 必ずお読みください

HDD/ カセット HDD（iV）の取扱いについてのお願い

本機に内蔵の HDD および別売のカセット HDD は非常に精密な機器です。
使用する環境や取扱いにより HDD/ カセット HDD の動作および寿命に影響を与える場合がありますので、次の内容を必ずお守りください。
別売のカセット HDD 取扱説明書に記載されている注意表示も必ずお守りください。

■ 設置時

- 後面や側面の通風孔をふさがないでください。
- 振動や衝撃が起こらない場所に設置してください。
- ごみやほこりの少ない場所に設置してください。
- 「結露」(つゆつき) が発生しにくい場所に設置してください。「結露」は故障の原因になります。
  「結露」とは、冷たいコップの表面に水滴がついたりする現象です。急な温度変化が起きた場合や、寒い所から暖かい場所へ移動して設置する場合は「結露」が起こりやすくなります。そのような場合は、室温に約 2 ～ 3 時間なじませてから電源を入れてください。
- 温度や湿度が高くない場所、直射日光があたらない場所に設置してください。温度や湿度の高い場所に設置すると録画、再生不良が発生したり、故障の原因になります。
- 安定した動作を維持するため、長期間ご使用されない場合でも、一年に一回程度は通電していただくことをおすすめします。

■ 動作中

- 電源プラグを抜かないでください。
- 振動や衝撃を与えたり、本機を移動させたりしないでください。
  移動するときには・・・①カセット HDD アクセス (動作中) ランプが消灯していることを確認し、カセット HDD を取り出す。内蔵 HDD が動作しているときは停止する。
  ②電源ボタンを押してスタンバイ状態にする。
  ③電源プラグをコンセントから抜く。
  ④ 2 分以上待ってから本機を動かす。
- カセット HDD アクセス（動作中）ランプ 51 が赤色で点灯中のときは、カセット HDD を抜かないでください。

お知らせ

- 本体前面の受像ランプが緑色に点灯している間、HDD/ カセット HDD は高速で回転しています。起動時や回転中に発生する音や振動は故障ではありません。
- データ読み取りの状態により、再生画面にまれにノイズが発生することがありますが、これは故障ではありません。
- 振動や衝撃によって、HDD/ カセット HDD が正常に動作しない場合があります。

■ 停電が発生した場合

- 記録中や再生中に停電等で電源が供給されなくなった場合、HDD/ カセット HDD の録画内容が損なわれる可能性があります。

■ 故障時のお願い

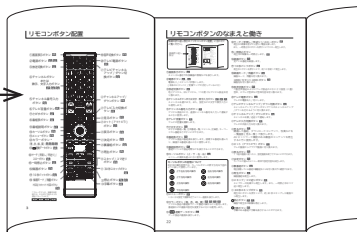
- 再生画面が一時停止したり乱れが頻繁に発生する場合は、HDD/ カセット HDD の故障が考えられます。このような場合は HDD/ カセット HDD の交換が必要です。
- HDD/ カセット HDD を交換する場合、HDD/ カセット HDD の録画内容を新しい HDD/ カセット HDD に移すことはできません。
- カセット HDD の故障時は、カセット HDD の保証書をご覧いただき、保証書に記載のお問い合せ先にお問い合せください。

■ 大切な映像を保存するために

- 故障の場合、HDD/ カセット HDD の録画内容が損なわれることがあります。大切な映像を録画する際は、HDD/DVD レコーダーなどによる録画を併用されることをおすすめします。

万一何らかの不具合により、録画や再生ができなかった場合の内容 (データ) の補償や損失、直接･間接の損害について、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

リモコンボタンのなまえと働き

表紙の折り返し部分の「リモコンボタン配置」と合わせてご覧ください。

①画面表示ボタン 68
チャンネル番号や外部機器の情報などを表示します。

②電源ボタン 46，56
電源を入 / スタンバイ状態にします。
(本体のスタンバイ / 受像ランプが点灯しているとき)

③放送切換ボタン 56
地上デジタル、BS デジタル、110 度 CS デジタル放送を切り換えます。

④チャンネルボタンまたは文字・数字入力ボタン 47 56 116
チャンネルを選びます。また、設定などの文字や数字入力にも使用します。

⑤チャンネル番号入力ボタン 74
デジタル放送のとき、直接チャンネル番号を入力して選局するときに使用します。

⑥テレビ音量ボタン 32
テレビの音量を調節します。

⑦さがすボタン 62
おすすめ番組一覧､注目番組一覧､ジャンル､出演者､キーワードから番組をさがすことができます。

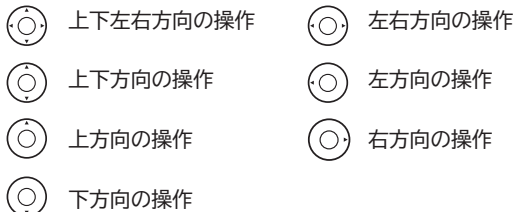
⑧番組表ボタン 59
デジタル放送の番組表を表示します。視聴する番組を選んだり、録画する番組を選ぶときに使用します。

⑨番組説明ボタン 61
番組タイトルや放送時間などを表示することができます。

⑩カーソルボタン（上・下・左・右）26
メニューの項目を選ぶときに使用します。

カーソルボタンの記号について

本文中の操作説明では、カーソルボタンの押す方向を下図のように表して説明しています。

- 上下左右方向の操作
- 左右方向の操作
- 上下方向の操作
- 左方向の操作
- 上方向の操作
- 右方向の操作
- 下方向の操作

⑪メニューボタン 26
いろいろな設定や調節を行うメニュー画面を表示します。

⑫カラーボタン（青、赤、緑、黄）58 59 121 146
デジタル放送の番組表やデータ番組の操作などに使用します。
番組表などの画面の設定を変更するときにも使用します。

⑬ d 連動データボタン 58
データ放送の画面を表示します。

⑭サーチ (早戻し / 早送り)/ スローボタン 95
再生中の映像を見ながら見たい場面を探します。
また、一時停止中にボタンを押すことでスロー再生します。

⑮一時停止ボタン
再生中の映像を一時停止します。95

⑯録画ボタン 75
見ている番組を録画します。

⑰ 10 秒バックボタン 95
再生中にボタンを押すことで、約 10 秒戻って再生します。

⑱録画モード / 残量ボタン 74
録画モード、残量を切り換えます。

HDD/ カセット HDD ボタン 74
録画先を切り換えます。

⑲音声切換ボタン 69
二重音声放送およびステレオ放送のときに２ヶ国語（二重）音声、ステレオ音声など音声内容を切り換えます。

⑳テレビ電源ボタン 32
テレビの電源を入 / 切にします。

㉑テレビチャンネルアップ / ダウン切換ボタン 32
チャンネルアップ / ダウンボタンでＴＶのチャンネルアップ / ダウンを行えるように切り換えます。

㉒チャンネルアップ / ダウンボタン 56
チャンネルを順 / 逆送りで選局します。

㉓テレビ入力切換ボタン 32
テレビの外部入力を切り換えます。

㉔見るボタン 91
録画した番組、ダウンロードコンテンツ、写真などを一覧画面 (見る一覧) で表示します。
AV ネットワーク機能のある機器のコンテンツを再生するときに使用します。

㉕ネット（アクトビラ）ボタン 121
テレビ画面からブラウザ画面に切り換えます。

㉖戻るボタン 26
１つ前の画面に戻ったり、設定画面を終了させることができます。

㉗決定ボタン 24
カーソルで選んだメニュー項目や設定内容を決定します。

㉘裏番組ボタン 58
現在視聴している番組の裏番組をＣＨを切り換えずに確認できます。

㉙再生ボタン 95
録画番組を再生します。

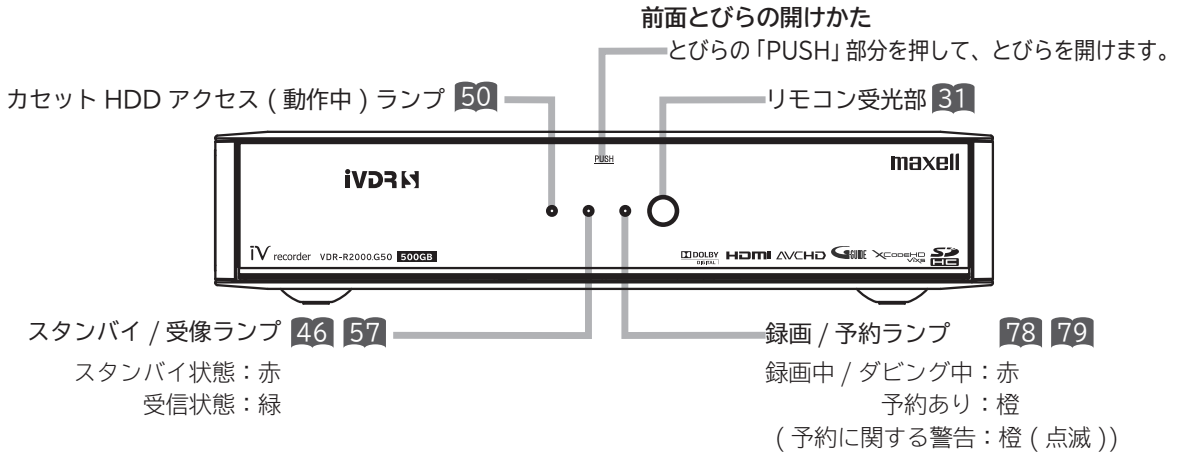
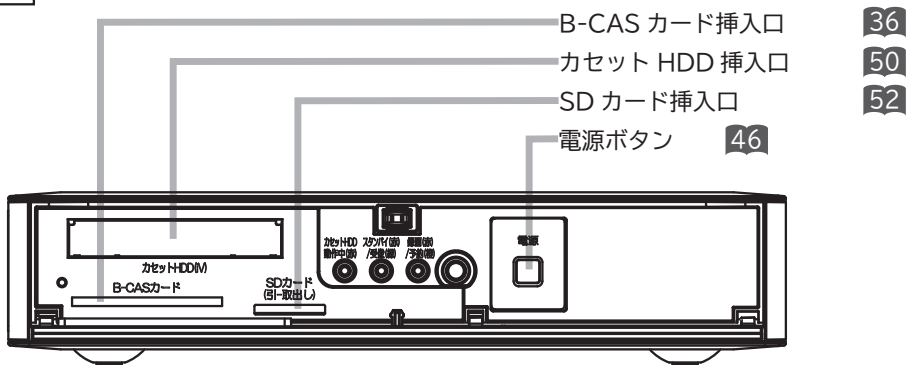
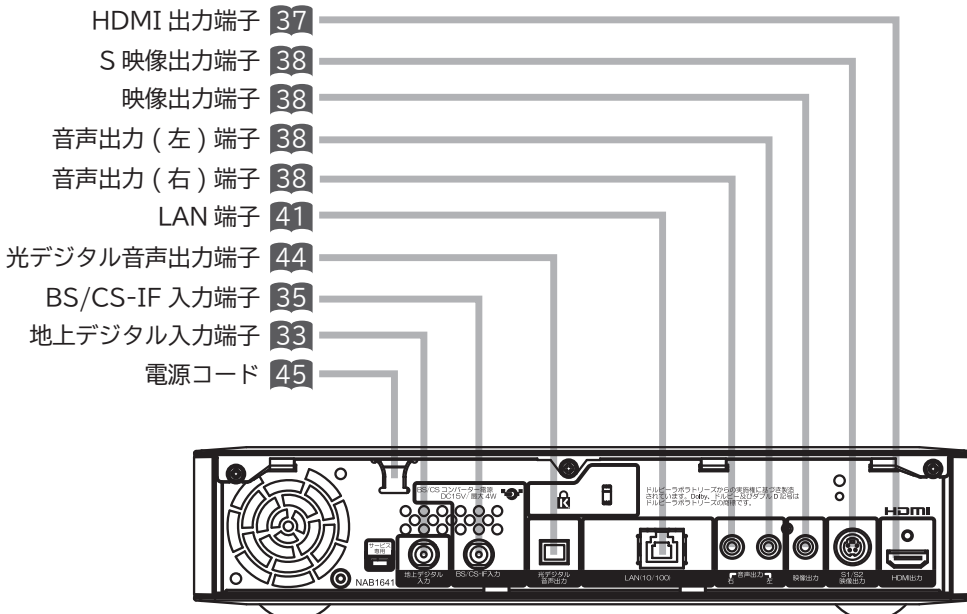
㉚スキップ / コマ送りボタン 95
チャプターの先頭から再生します。また、一時停止中はコマ送り再生します。

㉛ 30 秒スキップボタン 95
再生中にボタンを押すことで、約 30 秒スキップした場面から再生します。

㉜停止ボタン 75 91
録画や再生中の映像を停止します。

㉝字幕ボタン 69
字幕のある番組で字幕を表示することができます。

本体各部のなまえ

前面

前面とびら内

後面

メニュー機能の使いかた

メニューボタンを押すと画面にメニューが表示され、カーソルボタンを使ってほとんどの機能の設定ができます。

1 メニュー を押す

メニュー画面が現れます。

2 で項目を選び、決定を押す

見る一覧画面時（各フォルダを選択している場合）

画面デザイン 91
画面デザインを選びます。

リスト表示 91
サムネイル表示からリスト表示に切り換えます。

削除ロック設定／解除 109
録画した番組を削除できないようにします。

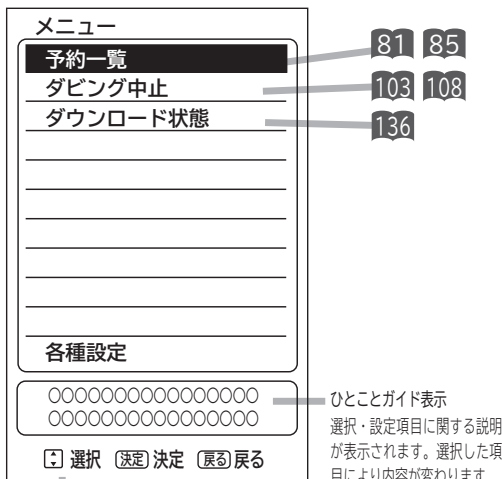
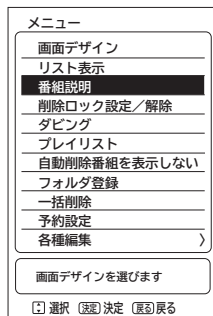
ダビング 102
HDDに録画されている番組をカセットHDDにダビングできます。

プレイリスト/録画番組 92
プレイリストまたは録画番組画面に切り換えることができます。
プレイリスト画面になっているときは、「録画番組」と表示されます。

自動削除番組を表示する/自動削除番組を表示しない 91
自動録画された番組（自動削除される番組）を表示する/しないに設定できます。

フォルダ追加 113
新しいフォルダを追加します。

フォルダ削除 113
フォルダの削除を行います。

フォルダ名変更 112
フォルダ名の変更をします。

見る一覧画面時（各録画番組を選択している場合）

画面デザイン 91
画面デザインを選びます。

リスト表示 91
サムネイル表示からリスト表示に切り換えます。

番組説明 61
選択中の番組のタイトルなどの情報を表示します。

削除ロック設定／解除 109
録画した番組を削除できないようにします。

ダビング 102
HDD に録画されている番組をカセット HDD にダビングできます。

プレイリスト / 録画番組 92
プレイリストまたは録画番組画面に切り換えることができます。
プレイリスト画面になっているときは、「録画番組」と表示されます。

自動削除番組を表示する/自動削除番組を表示しない 91
自動録画された番組（自動削除される番組）を表示する/しないに設定できます。

フォルダ登録 111
フォルダ内に登録されている録画番組を別のフォルダへ登録します。

一括削除 110
削除ロック対象以外の全ての録画番組を一度に削除したり、複数選択して削除することができます。

予約設定 91
録画番組と同じ時間帯の毎週予約ができます。

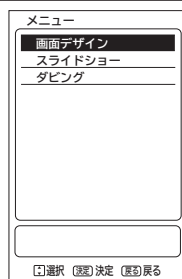
各種編集－サムネイル設定 96
録画した番組のシーンを選びサムネイルを更新することができます。

各種編集－タイトル名変更 100
録画した番組のタイトルを編集することができます。

各種編集－チャプター設定 98
チャプターポイントを設定することができます。

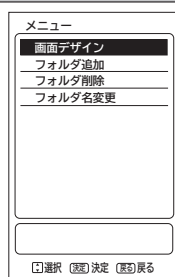
各種編集－分割 96
録画した番組をお好みの場所で 2 つに分割することができます。

2

写真・ビデオ一覧画面時
（ＳＤカードの各写真を選択している場合）

画面デザイン 91
画面の配色を変更することができます。

スライドショー 106
スライドショーの設定や実行を行うことができます。

ダビング 108
SD メモリーカードに記録した写真 (静止画像) を HDD に取り込むことができます。

写真・ビデオ一覧画面時
(HDD の各フォルダを選択している場合)

画面デザイン 91
画面の配色を変更することができます。

フォルダ追加 113
HDD に保存した写真 (静止画像) の新しいフォルダを追加します。

フォルダ削除 113
HDD に保存した写真 (静止画像) のフォルダの削除を行います。

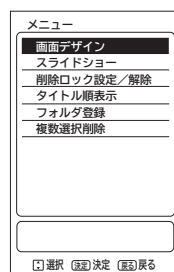
フォルダ名変更 112
HDD に保存した写真 (静止画像) のフォルダ名の変更をします。

見る一覧画面時
(録画先（カセット HDD) を選択している場合)

画面デザイン 91
画面の配色を変更することができます。

カセット HDD 名称編集 114
カセット HDD ディスクのタイトルを編集することができます。

● でグレー色文字の項目を選んだときは、設定を切換えたり、決定で操作することはできません。

写真・ビデオ一覧画面時
(HDD の各写真を選択している場合)

画面デザイン 91
画面の配色を変更することができます。

スライドショー 106
スライドショーの設定や実行を行うことができます。

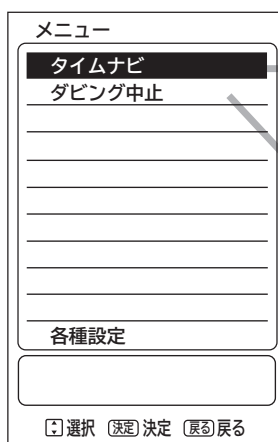
削除ロック設定／解除 109
HDD に保存した写真 (静止画像) を削除できないようにします。

タイトル順表示 / 時間順表示 105
写真 (静止画像) の表示順を変更することができます。
現在タイトル順表示になっている場合は「時間順表示」と表示されます。

フォルダ登録 111
HDD のフォルダ内に登録されている写真 (静止画像) を別のフォルダへ登録します。

複数選択削除 110
HDD に保存した写真（静止画像) を複数選択して削除することができます。

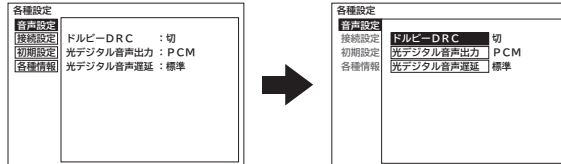
再生時

次ページへつづく

メニュー機能の使いかた（つづき）

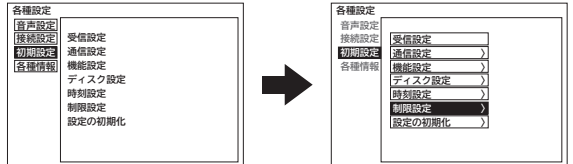
2 「各種設定」について

「各種設定」を選ぶと音声設定や接続設定、受信設定などの設定画面を表示することができます。

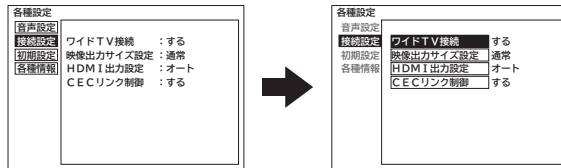
光デジタル音声出力などを設定したいときは

◎で「音声設定」を選び、◎ / 決定を押す

160 など

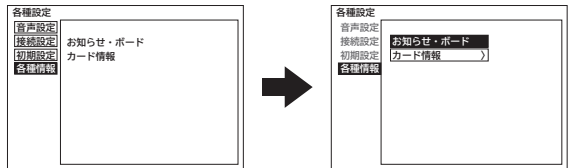
受信設定などの設定をしたいときは

◎で「初期設定」を選び、◎ / 決定を押す

174 など

接続するテレビを設定したいときは

◎で「接続設定」を選び、◎ / 決定を押す

53 など

メールなどを確認したいときは

◎で「各種情報」を選び、◎ / 決定を押す

70

- 「▽」の表示があるときは、◎を押すと、次のページが表示されます。
- 「△」の表示があるときは、◎を押すと前のページが表示されます。
- ◎でグレー色文字の項目を選んだときは、設定を切換えたり、決定で操作することはできません。

3 設定が終了したらメニューを押して、メニューを消す

メ　モ　リモコンの戻るについて

メニューの設定画面のとき、戻るを押すと前の設定画面に戻したり、設定画面を終了させることができます。

接続する

設置と準備の進めかた……28

■ 地上デジタル放送について……29
■ 地上デジタル放送についてのお問い合わせ先……29

据え付けについて……30

■ 据え付けるときのご注意……30

リモコンを準備する……31

■ リモコンでテレビを操作できるようにする……32

アンテナと接続する……33

■ 地上デジタル放送用 UHF アンテナの接続……33
■ きれいな映像を楽しむために……34
■ CATV ケーブルと接続するときの地上デジタル放送受信について……34
■ BS/CS アンテナの接続……35

B-CAS カードを挿入する (重要)……36

テレビに接続する……37

■ テレビの入力端子を確認する……37

LAN インターフェースと接続する……39

■ インターネット環境の準備……39
■ 既存接続環境の確認……40
■ 接続例……41
■ 光デジタル音声入力端子付きオーディオ機器と接続する……44

電源プラグを接続する……45

電源を入れる……46

■ 電源を入れる……46
■ すぐに操作できるようにする (高速起動)……46

かんたんセットアップをする……47

カセット HDD(iV) の取り扱い……50

■ カセット HDD(iV) とは……50
■ カセット HDD(iV) を挿入口に入れる……50
■ カセット HDD(iV) の抜きかた……51

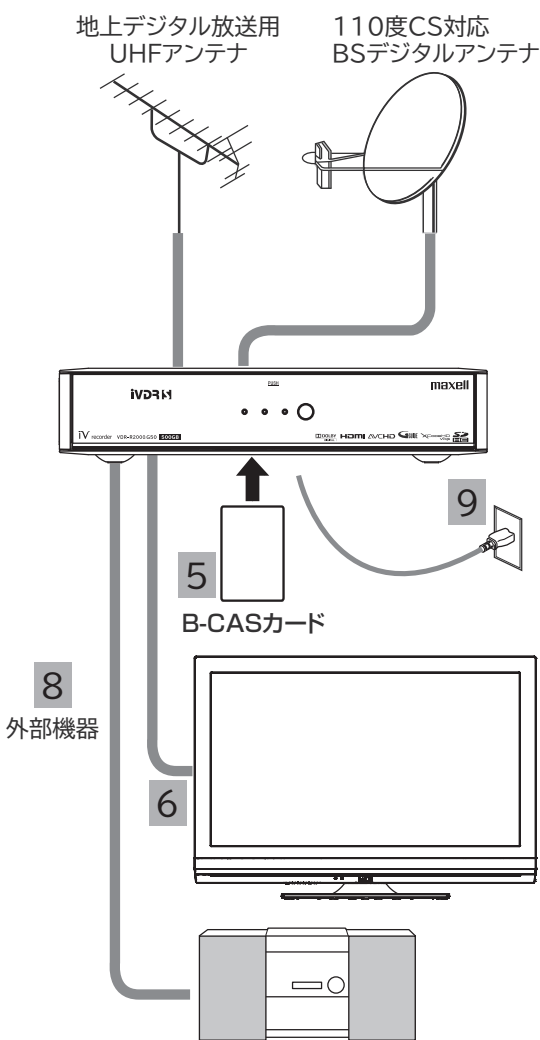
SD メモリーカードの取り扱い……52

■ SD メモリーカードを入れる……52
■ SD メモリーカードの抜きかた……52

接続するテレビに合わせて設定する……53

設置と準備の進めかた

重要 本機の設置やアンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
（設置・準備費用については、お買上げの販売店にご相談ください。）

ご自分で設置と準備をされるときは、下記の順番で作業してください。

1 付属品を確認します 4

2 本機を据え付けます 30

3 リモコンに電池を入れます 31

4 アンテナ線と本機を接続します 33 35

5 B-CAS カードを入れます (重要) 36

6 テレビに接続します 37

7 LAN インターフェースを接続します 39

8 お手持ちの機器を接続します

■ 光デジタル音声入力端子付きオーディオ機器 44

9 電源プラグをつなぎます 45

10 電源を入れます 46

11 かんたんセットアップで受信設定をします 47

メニューからの受信設定も可能です。 174

12 ISP(プロバイダー)、LAN を設定します 185 186

お知らせ

●本機は、電話回線接続端子を備えておりません。電話回線を使用した視聴者参加番組などの双方向データサービスは利用できませんが、インターネット網に接続することにより、インターネットを使用した双方向データサービスを利用できるものがあります。

地上デジタル放送について

●受信には、ＵＨＦアンテナが必要です。
●UHFアンテナには全帯域型と帯域専用型がありますので、全帯域型または地上デジタル放送対応型をご使用ください。
●現在お住まいの地域で、地上デジタル放送の送信塔が地上アナログ放送と同じ方向の場合は、そのままの向きで地上デジタル放送を受信できますが，送信塔の方向が違う場合は、アンテナの向きを地上デジタル放送の送信塔の方向に変更する必要があります。
●受信エリア内であっても、地形やビル陰などによって電波がさえぎられる場合や電波の伝搬状況などにより、視聴できない場合があります。
●ケーブルテレビまたは共聴・集合住宅施設でご視聴の方は、ケーブル事業者または共聴施設管理者にお問い合わせください。
●地上デジタル放送を受信するためには、最初に「地域名」の設定と「初期スキャン」の操作が必要です。175

地上デジタル放送についてのお問い合わせ先

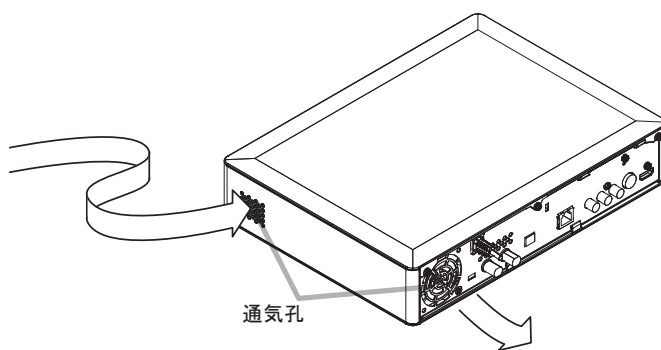
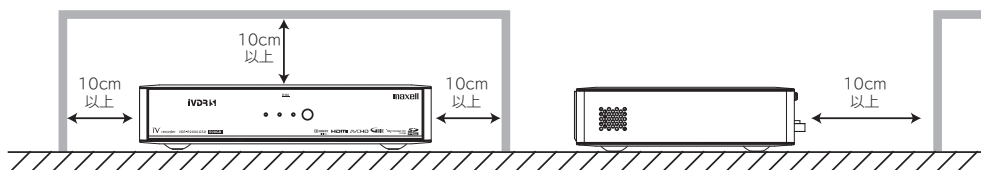
●社団法人　デジタル放送推進協会（ホームページ　http://www.dpa.or.jp）
●総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター
TEL　：0570-07-0101
　　　03-4334-1111（PHS、IP 電話をご使用の場合）
受付時間：9：00 ～ 21：00（月～金)、9：00 ～ 18：00（土・日・祝日）

お知らせ

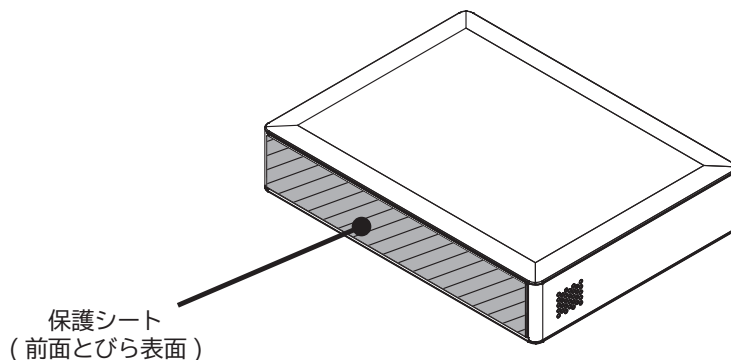
地上アナログ放送について
●一部の地域を除き、地上アナログ放送は 2011 年 7 月 24 日に終了しました。
●本機で地上アナログ放送を視聴することはできません。

据え付けについて

据え付けるときのご注意

① 本機の周囲は放熱のための空間を十分に確保してください。
② 密閉したケースや棚などに設置したり、通風孔をふさいだりすると内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。
③ 強い衝撃や振動が加わらない場所に設置してください。内蔵 HDD やカセット HDD に衝撃や振動が加わると、録画再生不良が発生しやすくなります。

⚠注意
通風孔をふさがないように据え付けてください。
通風孔をふさぐと熱がこもり、故障や火災の原因となることがあります。

保護シートについて

●本機は工場出荷時、下図の斜線部分に保護シートが貼ってありますので、設置後に取り外してお使いください。

リモコンを準備する

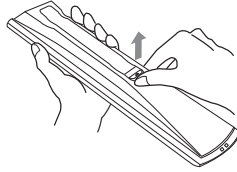
⚠注意

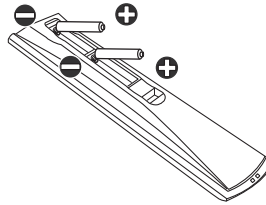
乾電池の使用上のご注意

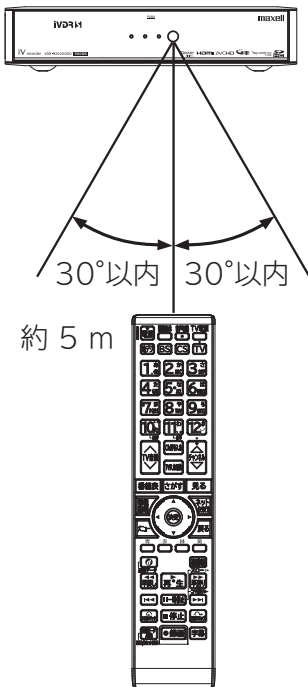
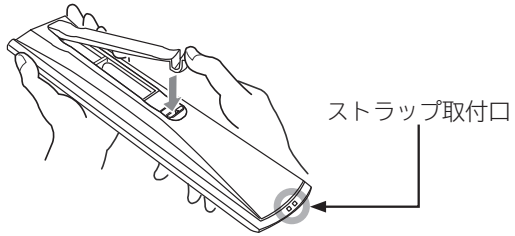
●本機で指定されていない電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。

●電池を機器内に挿入する場合、極性表示プラスとマイナスの向きに注意し、機器の表示通り正しく入れてください。まちがえますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

1 電池ぶたをはずす

矢印の方向に押しながら開けます。

2 乾電池を入れる

付属の単４形乾電池を⊕、⊖の表示通りに入れます。

3 電池ぶたを閉める

電池ぶたを矢印の方向に押して戻します。

●リモコンは、本体のリモコン受信窓に向けて操作します。

●リモコンは、それぞれのリモコン受信窓の正面から約５メートル、左 30 度、右 30 度の範囲内でお使いください。

●ストラップを取り付ける場合は、ストラップ取付口をご利用ください。

●２台の本機を近くで使用したい場合は、リモコンコードを変更して他のリモコンからの干渉を防ぐことができます。171

お守りください　リモコンの使用上のご注意

●リモコンを落としたり、衝撃を与えないでください。

●リモコンに水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。故障の原因になります。

●長時間ご使用にならない場合は、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。

●リモコンの操作がしにくくなった場合は、乾電池を交換してください。
（付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。単４アルカリ乾電池のご使用をおすすめします。）
乾電池を入れる前に、乾布などで電池端子部をきれいにふいてください。端子部が汚れていると、接触不良のために正常に動作しないことがあります。

●リモコン受信窓に直射日光などの強い光が当たると動作しなくなることがあります。光が直接当たらないようにテレビの向きを変えてください。

●リモコン受光部 23 の前に物を置かないでください。正常に動作しなくなる場合があります。

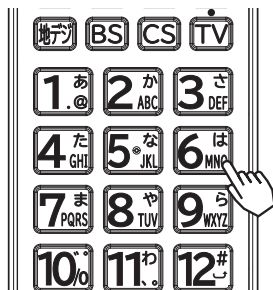
●電子レンジなどの加熱料理器に、リモコン送信機・乾電池を入れて加熱しないでください。発熱により火災・故障の原因になります。

●ふた無しで使用すると、金属物などで乾電池がショートし発熱、液もれ、破裂などさせるおそれがありますので、必ずふたを閉めてご使用ください。

リモコンを準備する（つづき）

リモコンでテレビを操作できるようにする

本機と接続しているテレビをリモコンで操作できるように設定します。

1 テレビ電源ボタンを押しながら、数字ボタン（２桁）を押す

●メーカー番号は下記の表をご覧ください。メーカー番号が複数ある場合は、テレビの音量調節などを正しく操作できる番号を選んでください。

例）番号「11」を入力するとき

［1］を押してから［1］を押します。

●メーカー番号の切り換えが完了すると、テレビチャンネルアップ／ダウン切換ボタン［TV］が約１秒間点灯します。

メーカー	番号	メーカー	番号
日立（1）	11	シャープ（1）	18
日立（2）	12	シャープ（2）	19
パナソニック(1)	13	三菱	20
パナソニック(2)	14	東芝	21
パナソニック(3)	15	ビクター	22
三洋（1）	16	ソニー	23
三洋（2）	17	パイオニア	24

2 リモコンをテレビに向け、テレビ電源ボタン、テレビ入力切換ボタン、チャンネルアップ / ダウンボタン、テレビ音量ボタンなどを押して、テレビを操作できるか確認する

●テレビ側のチャンネル△▽操作を行う場合は、チャンネル△▽ボタンを押す前にテレビチャンネルアップ / ダウン切換ボタン［TV］を押して、［TV］が赤色に点灯中 (約５秒間) に操作してください。

●本機のチャンネル△▽操作に戻すには、［TV］が赤色に点灯中に［TV］をもう一度押してください。

●ご使用になるテレビ（プラズマテレビ、液晶テレビを含む）の製造年度や形式により、操作できない、あるいは一部のボタンが働かない場合があります。この場合は、テレビに付属のリモコンをお使いください。

お知らせ

●お買い上げ時は、「日立 (1)」（メーカー番号「11」）に設定されています。

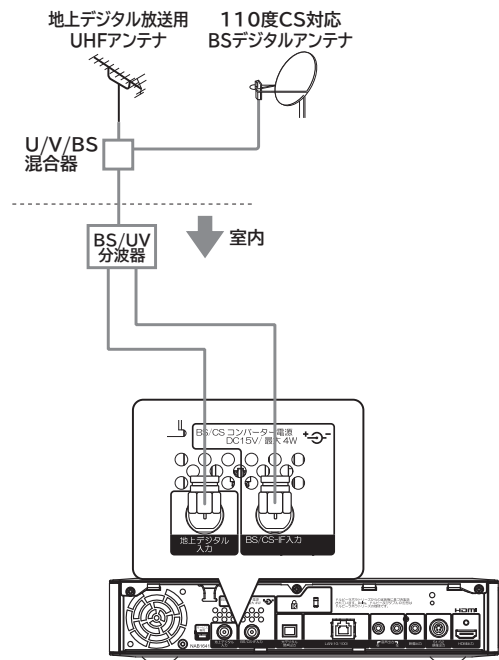
●リモコンの乾電池を交換すると、「日立 (1)」に戻ることがあります。他の設定でお使いの場合は、もう一度メーカー番号を設定してください。

アンテナと接続する

⚠注意
アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

①下図のように地上デジタル入力端子に接続してください。
②地上デジタル放送を受信するときは、UHF アンテナを使用します。VHF アンテナでは受信できません。また、現在お使いのアンテナが UHF アンテナでも、調節や取り替えが必要な場合もありますので、その際は、販売店にご相談ください。
③本機の地上デジタル入力端子への接続に、市販の BS/UV 分波器やアンテナアダプターを使用する場合は、できるだけ本機より離して接続してください。
④ CATV ケーブルと接続するときは、伝送方式や接続について詳しくは CATV 会社にお問い合わせください。

地上デジタル放送用 UHF アンテナの接続

UHF アンテナが個別のとき

① UHF アンテナ同軸ケーブルを本機の地上デジタル入力端子に接続する。
② BS アンテナ同軸ケーブルを本機の BS/CS-IF アンテナ入力端子と接続する。(35もご覧ください。)

BS・CS が混合のとき（例：UHF/BS 混合入力）

① BS/UV 分波器の UV 出力を本機の地上デジタル入力端子に接続する。
② BS/UV 分波器の BS 出力を本機の BS/CS-IF アンテナ入力端子に接続する。(35もご覧ください。)

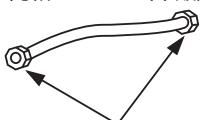
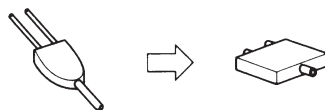
お守りください

アンテナ線接続時のご注意
●アンテナ線には、妨害の少ない同軸ケーブルの使用をおすすめします。
（平行フィーダーを使用しますと受信状態が不安定となり、妨害電波を受けやすく、ブロックノイズが現れたりします。）
●やむを得ず平行フィーダーを使用する場合は、本機よりできるだけ離してください。
●室内アンテナ線も妨害電波を受けやすいので、お避けください。
●アンテナに対して、電源コードや他の接続コード類をできる限り離してください。

アンテナと接続する（つづき）

きれいな映像を楽しむために

きれいな映像をお楽しみいただくには、アンテナ線や各種ケーブル類の接続状態が非常に大切です。

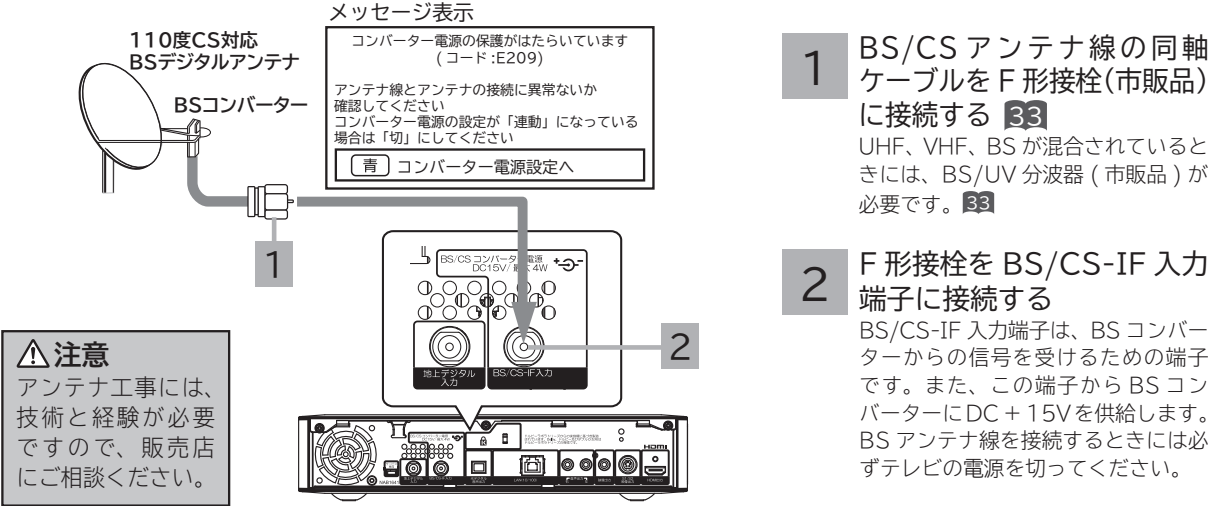
●アンテナ線は同軸ケーブルに F 形接栓を接続して使用することをおすすめします。

● BS/UV 分波器・分配器はシールドタイプの使用をおすすめします。

CATV ケーブルと接続するときの地上デジタル放送受信について

CATV には、以下のような地上デジタル放送の伝送方式があります。

伝送方式	本機の対応
トランスモジュレーション方式	UHF 帯の地上デジタル放送をケーブルテレビ局の電波に変換して伝送します。本機のアンテナ端子に接続しても地上デジタル放送を受信できません。
同一周波数パススルー方式	UHF 帯の地上デジタル放送を変換しないでそのまま伝送します。本機の地上デジタル入力端子に接続して地上デジタル放送を受信することができます。
周波数変換パススルー方式	UHF 帯の地上デジタル放送を CATV で伝送可能な別の周波数に変換して伝送します。本機の地上デジタル入力端子に接続して地上デジタル放送を受信することができます。

●地上デジタル放送をパススルー方式で再送信している場合は、本機で地上デジタル放送をご覧になることができます。詳しくは、CATV会社にお問い合わせください。

BS/CS アンテナの接続

接続するときには安全のため、必ず本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。下記メッセージが表示される場合は、テレビの電源を切ってから 110 度 CS 対応 BS デジタルアンテナを確認し、もう一度電源を入れてください。現象が直らない場合は、コンバーター電源を「切」に設定 183 して、お買い上げの販売店にご相談ください。

⚠注意
アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

1 BS/CS アンテナ線の同軸ケーブルを F 形接栓(市販品)に接続する 33

UHF、VHF、BS が混合されているときには、BS/UV 分波器 (市販品) が必要です。33

2 F 形接栓を BS/CS-IF 入力端子に接続する

BS/CS-IF 入力端子は、BS コンバーターからの信号を受けるための端子です。また、この端子から BS コンバーターにDC＋15Vを供給します。BS アンテナ線を接続するときには必ずテレビの電源を切ってください。

●上記メッセージが表示されているときに、［青］を押すと「コンバーター電源」設定画面が表示されます。

お守りください

●共聴受信等で視聴される（電源供給を必要としない）場合には、「受信設定（BS・CS)」183 をご覧になって、コンバーター電源の設定を必ず「切」にしてご使用ください。
●アンテナを接続するときは、安全のため、必ず本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。
● BS/CS-IF 入力端子に F 形接栓を接続するときは、手で緩まない程度に締めつけてください。締めつけすぎると本機内部が破損する場合があります。

アンテナ線の接続についてのご注意

衛星放送を分配して他の機器で (衛星放送を) 視聴する場合、分配器は必ず多端子タイプの電流通過形をご使用ください。多端子タイプ電流通過形でない場合は、アンテナに供給している機器の電源を切ると、他の機器で衛星放送が受信できなくなります。

お知らせ

●アナログ CS 用アンテナや従来のスカイパーフェク TV ！用アンテナ（JCSAT-3、JCSAT-4 受信用）はご使用になれません。110 度 CS デジタル放送を受信する場合は、110 度 CS 対応 BS デジタルアンテナをご使用ください。
●ブースターや分配器をご使用になる場合は、110 度 CS 対応（周波数 2,150MHz 対応以上）であることをご確認の上、ご使用ください。従来の BS 用で周波数帯域が 1,335MHz のものや、CS 対応でも対応周波数が 1,895MHz などの 2,150MHz 未満のものをご使用になった場合､110 度 CS デジタル放送の一部もしくはすべてのチャンネルが受信できない場合があります。
●マンションなどの共同受信システムの場合で、110 度 CS デジタル放送に対応していない場合は、110 度 CS デジタル放送を受信できません。
● BS アンテナを使用する場合は、BS デジタル放送のみの受信が可能です。この場合、従来の BS アンテナのほとんどは使用できますが、一部の BS アンテナでは性能の劣化や BS デジタル放送受信に必要な性能が確保されず、BS デジタル放送を受信したとき、安定した受信ができないことがあります。このようなときは、BS アンテナ製造元のお客様窓口や、BS アンテナを購入した販売店などにお問い合わせください。

メ モ

BS/CS アンテナ線の接続についてのお願い

● F 形接栓（市販品）をご使用ください。
●アンテナの方向調整、設置についてはアンテナの取扱説明書をご覧いただくか、お買い上げの販売店にご相談ください。

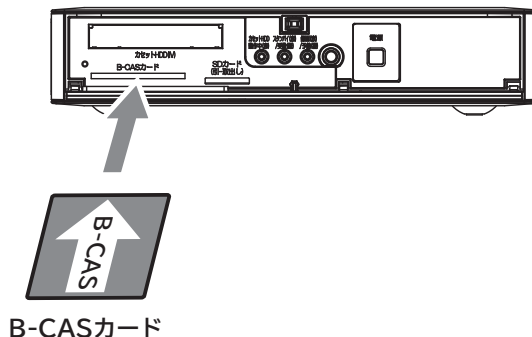
映りがよくないときには

衛星放送の電波は微弱なため、受信するにはアンテナ方向の正確な調整が必要です。もし、時々映像や音声が出なくなったりするときは販売店にご相談ください。また、雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声が止まったり、ひどい場合にはまったく受信できないことがあります。これは、気象条件によるもので、アンテナやチューナーの故障ではありません。受信レベルについては 181 をご覧ください。

B-CAS カードを挿入する（重要）

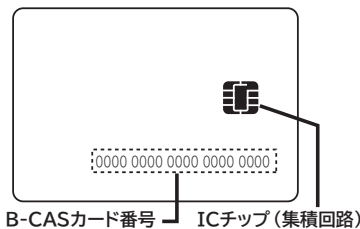
本機に付属の B-CAS カードは、本機の電源プラグを電源コンセントに接続しない状態で、下記の手順に従って挿入してください。

1 B-CAS カードを挿入する

図のように、B-CAS カードを、カード表面の矢印の向きを挿入口へ合わせ、挿入が止まるまでゆっくりと押し込みます。

メ　モ

B-CAS カード番号 (カード ID) は、カードを挿入したままでも本機で確認することができます。
操作方法は、「インフォメーションを確認する」70 をご覧ください。

B-CAS カードについて

本機に付属の B-CAS カードには 1 枚ごとに違う番号（B-CAS カード番号）が付与されています。B-CAS カード番号はお客様の有料放送契約内容などを管理するために使われている大切な番号です。「(株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター」への問い合わせの際にも必要となります。
B-CAS カードの取り扱いの詳細については、カードの台紙に記載されている説明をご覧ください。B-CAS カードのお問い合わせ先については、225 をご覧ください。

お守りください

B-CAS カード取り扱い上の留意点

- B-CAS カードを折り曲げたり、変形させないでください。
- B-CAS カードの上に重いものを置いたり踏みつけたりしないでください。
- B-CAS カードに水をかけたり、ぬれた手でさわらないでください。
- B-CAS カードの IC チップ（集積回路）部には手をふれないでください。
- B-CAS カードの分解加工は行わないでください。
- B-CAS カードは上記手順をご覧のうえ、本機の B-CAS カード挿入口に、奥まで正しく挿入してください。B-CAS カードを正しく挿入しないと、有料放送や一部のデータ放送を視聴することができません。
- ご使用中に B-CAS カードの抜き差しはしないでください。デジタル放送が視聴できなくなる場合があります。

B-CAS カードを抜くとき

万一、抜く必要があるときは、本機の電源プラグを電源コンセントから抜いたあと、ゆっくり B-CAS カードを抜いてください。B-CAS カードには IC チップ（集積回路）が組み込まれているため、画面に B-CAS カードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き差しをしないでください。

お知らせ

- 本機専用の B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違うと B-CAS カードは機能しません。
- WOWOW、スターチャンネルなどの有料サービスを受けるには、B-CAS カードの登録のほかに個別の受信契約が必要になります。詳しくはそれぞれの有料放送を行う放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。226 227

テレビに接続する

テレビの入力端子を確認する

ご使用のテレビの映像信号入力端子の種類によって、接続方法が異なります。テレビの端子を確認し、どれか 1 つの方法で接続してください。映像品質の良い順に接続方法を並べると、次のようになります。

HDMI 端子→ S 映像端子→映像端子

HDMI 入力端子	テレビにこの入力端子があると、本機からデジタル映像と音声の両信号を、1 本のケーブルで、高品質のままテレビに送ることができます。 接続方法は、「HDMI 端子と接続する場合」をご覧ください。
S 映像入力端子	映像端子よりも質の良い画像が得られます。接続方法は、「S 映像端子と接続する場合」38をご覧ください。
映像入力端子	テレビに映像端子しかない場合は、この端子と接続してください。接続方法は、「映像端子と接続する場合」38をご覧ください。

お知らせ

●ビデオデッキ経由で本機とテレビを接続しないでください。コピーガードの影響により、再生時に画面が乱れることがあります。

●ビデオ内蔵テレビと本機を接続するときは、ビデオ側ではなく、テレビ側の入力端子に映像・音声コードを接続してください。画面の乱れが発生する場合は、他のテレビと接続してください。

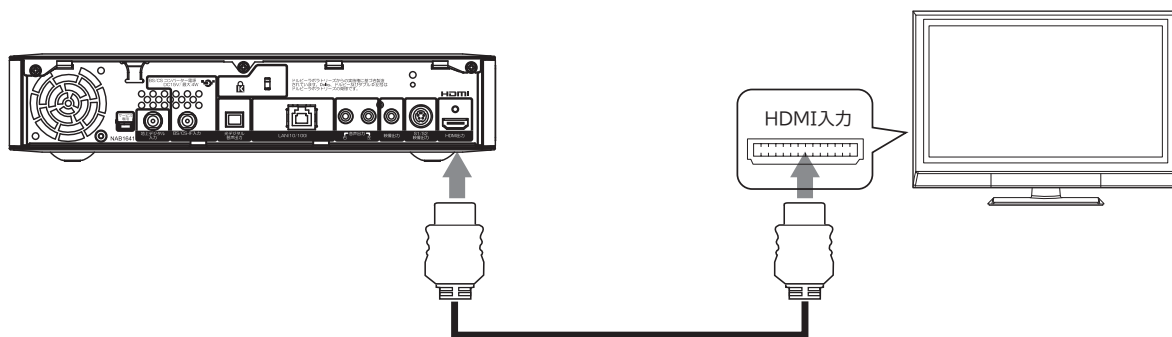
● S 映像端子 / 映像端子

お使いのテレビにオートワイドやスムーズワイド機能がある場合、画面上の表示が一部見えなくなることがあります。そのような場合は、テレビの表示モードをフルモード（16:9　固定表示モード）またはノーマルモード（4：3　固定表示モード）に切り換えてください。

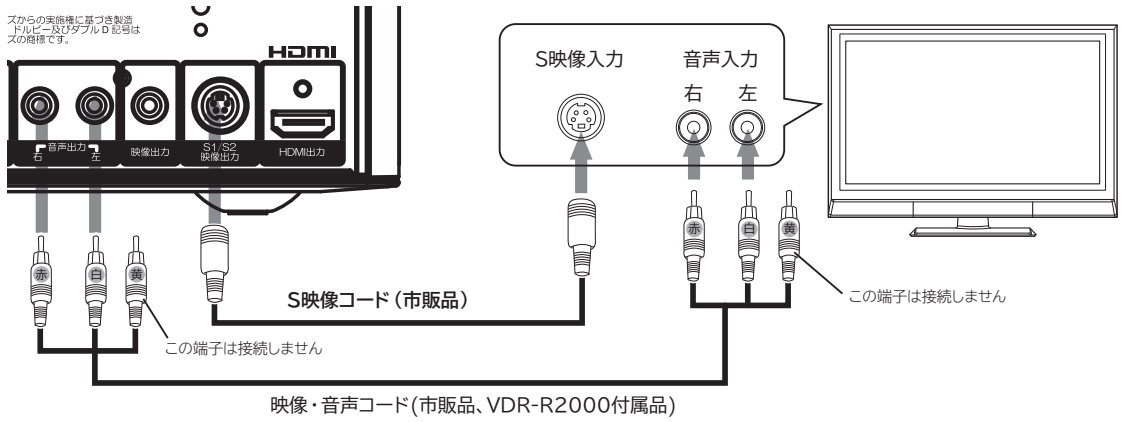
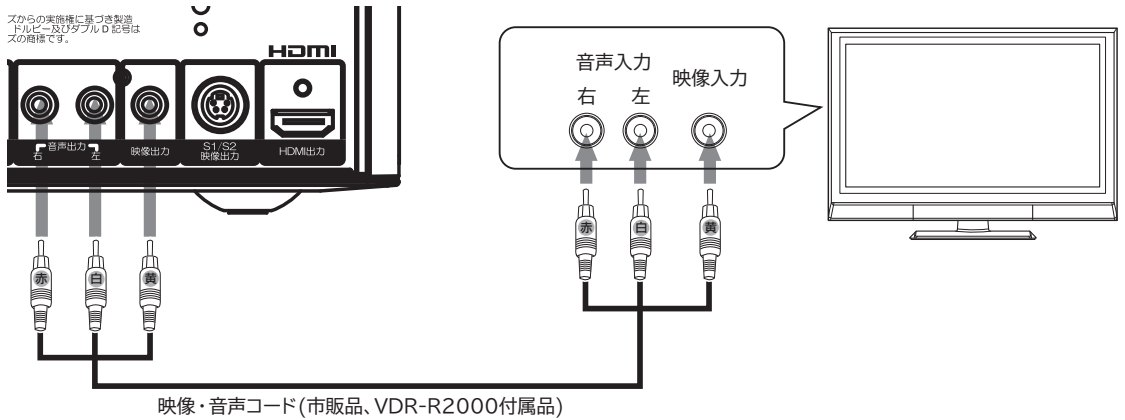
● S 映像端子

本機は自動的にワイドテレビの画面表示を切り換える S1/S2 規格に対応しています。

●本機とテレビを S 映像端子 / 映像端子で接続するときは、メニューの「 各種設定 」-「 接続設定 」-「HDMI 出力設定 」を「480p」に設定してください。54

HDMI 端子と接続する場合

HDMI ケーブル
（ VDR-R2000.G50 / VDR-R2000ND1PW 付属品、市販品 ）

テレビに接続する（つづき）

S 映像端子と接続する場合

映像端子と接続する場合

お知らせ

- HDMI ケーブルは、HDMI の表示があるケーブルを使ってください。
- 本機の HDMI 端子を変換ケーブルなどを使ってテレビやモニターの DVI 端子に接続した場合、映像を出力することはできません。

LAN インターフェースと接続する

本機では、インターネット接続サービスやデジタル放送の新しい双方向サービスに対応するため、インターネット網に常時接続環境で接続する LAN インターフェースを装備しています。

インターネット環境の準備

インターネットに接続するには、ブロードバンド環境が必要です。
以下の流れを参考に、インターネットへの接続環境を準備してください。

プロバイダーとの契約

本機でインターネットサービスを楽しむためには、まず回線業者やインターネット接続サービスを行う接続業者“インターネットサービスプロバイダー（ISP）”との契約が必要です。これまでインターネットをお使いになるための契約を行っていない場合は、回線業者やインターネットサービスプロバイダーとインターネットに接続するための契約を行ってください。
契約によって、本機をインターネット網に常時接続するための各種設定情報を入手することができます。

インターネット網との接続

ADSL 接続環境、CATV 接続環境、光ファイバー（FTTH）接続環境と、ご利用の環境に応じて、41 のように、インターネット網と本機を接続してください。アクトビラなどで映像コンテンツを再生する場合は、光ファイバー（FTTH）接続が必要です。接続に使用する機器は、回線業者やインターネットサービスプロバイダーに指定された製品を使い、指定された各種設定情報をパソコンまたは本機で設定してください。
使用するブロードバンドルーターによっては、パソコンによる設定が必要となる場合もあります。このような機器を使用する場合は、パソコンを接続して設定を行ってください。

ブロードバンドモデム、ブロードバンドルーターの設定

ADSL モデムやケーブルモデムなどのブロードバンドモデム、ブロードバンドルーター（以下、ルーター）の設定については、接続する環境や使用するモデム、ルーターごとに異なります。回線業者やインターネットサービスプロバイダーにご確認ください。
なお、インターネットからの不正アクセスなどを防止するために、本機のインターネット接続にはルーターをご使用になることを推奨します。

ルーターへの接続設定

ご利用のルーターと本機を接続するために、本機に IP アドレスの設定が必要な場合には、185 のように設定します。
お買い上げ時における本機の IP アドレス設定は、ルーターから自動的に DHCP で取得するモードに設定されていますので、ご利用のルーターが DHCP を用いて接続可能な場合には、この設定は不要です。

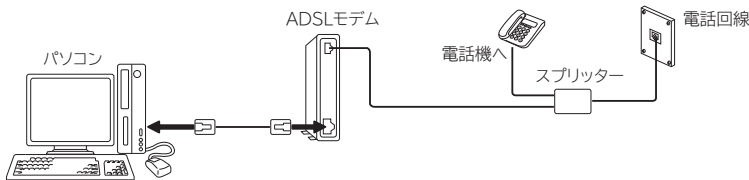
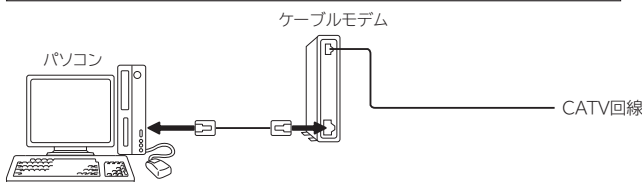
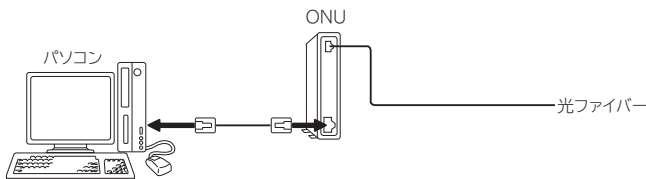
通信テスト

インターネットサービスを快適に利用していただくために、あらかじめ通信テストを行ってください。正しく接続・設定されているか、インターネットに接続できるかを確認します。（通信テストについて 188 ）

LAN インターフェースと接続する（つづき）

既存接続環境の確認

すでに常時接続環境をお使いの場合、次の図のように ADSL モデムやケーブルモデム、ONU に１台のパソコンを直接接続されている場合は、ブロードバンドルーターなどの機器を追加したり、設定を変更したりする必要があります。

ADSL モデムにパソコンを直接つないでいる

ケーブルモデムにパソコンを直接つないでいる

ONU にパソコンを直接つないでいる

これらの環境でパソコンのインターネット接続をしている場合は、本機を接続するために以下の点にご注意ください。

●モデムや ONU がルーター機能を持っていない場合
パソコン１台だけが接続できる環境になっています。本機を接続するためには､別途市販のブロードバンドルーターを追加する必要があります。また、プロバイダーが PPP（PPPoE）で接続するタイプの場合、プロバイダーから提供される情報をブロードバンドルーターに設定する必要があります。接続例の「ADSL 接続の場合（１）」､「CATV 接続の場合（１）」､「FTTH の場合（１）」をご覧ください。

●モデムや ONU がルーター機能を持っているがルーター機能を使わない設定になっている場合
パソコン１台だけが接続できる環境になっています。本機を接続するためには、ルーター機能を使う設定にする必要があります。プロバイダーが PPP（PPPoE）で接続するタイプの場合､プロバイダーから提供される情報をルーターに設定する必要があります。お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

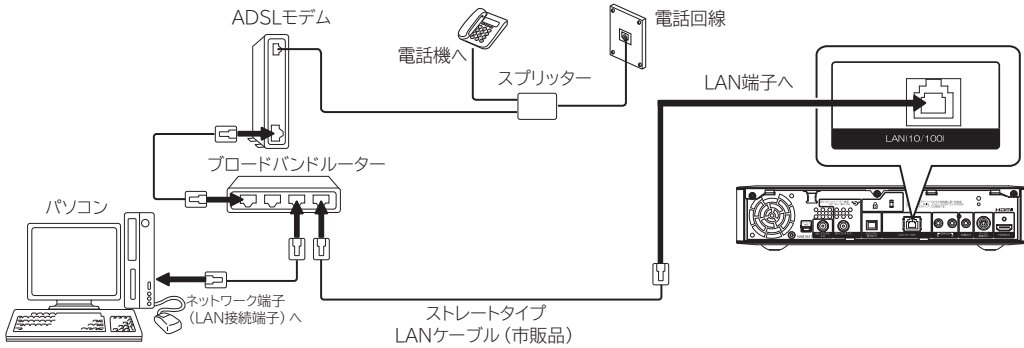
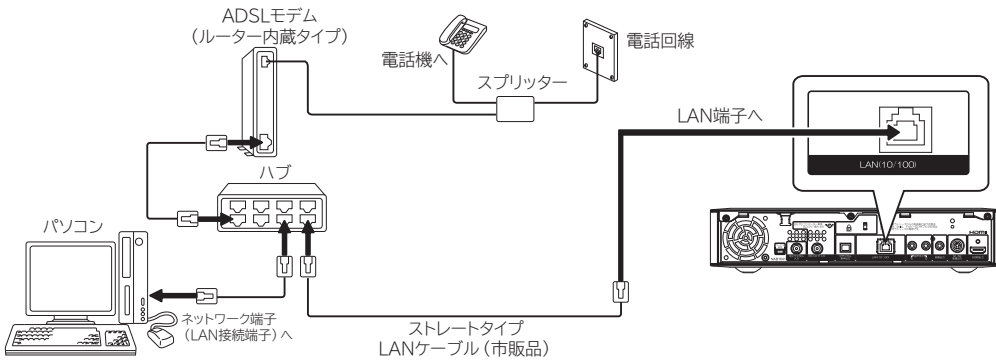
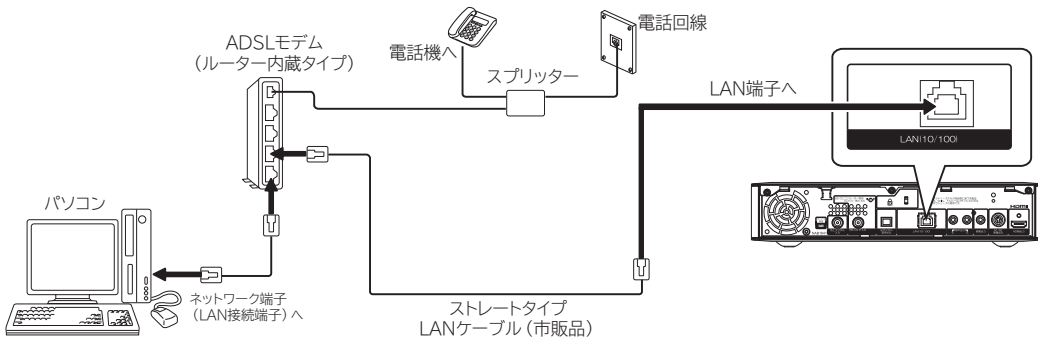
●モデムや ONU がルーター機能を持っていて機能しているが、LAN インターフェースがパソコンに占有されている場合
本機を接続するために、別途市販のハブを追加する必要があります。
接続例の「ADSL 接続の場合（２）」､「CATV 接続の場合（２）」をご覧ください。

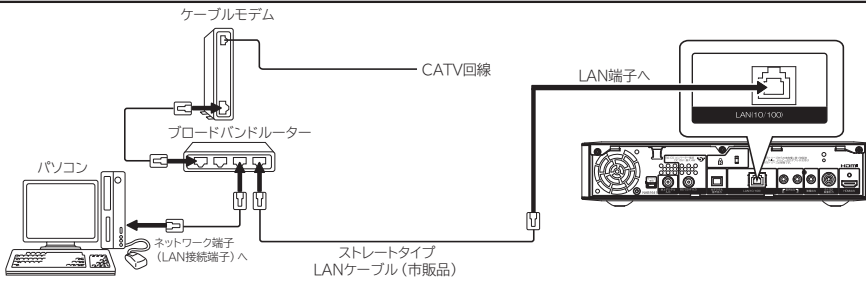
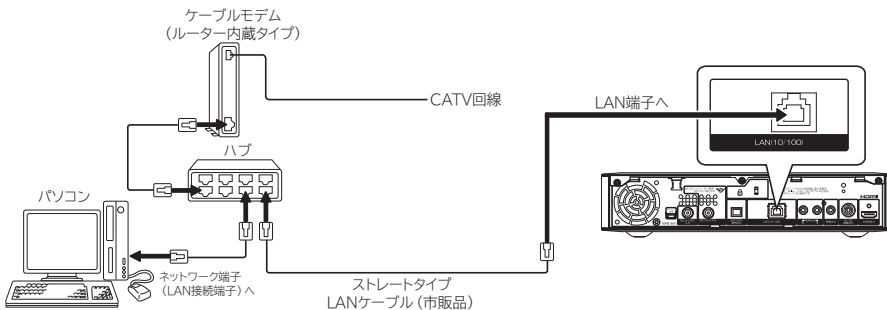
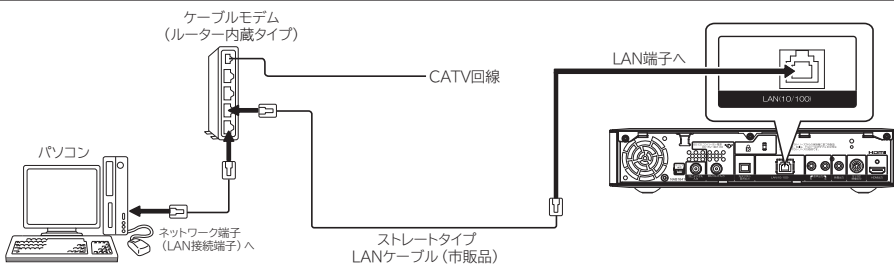
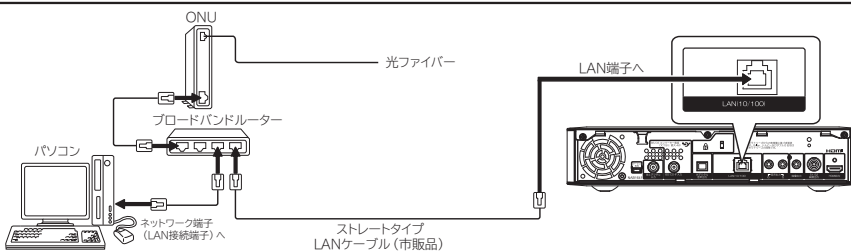
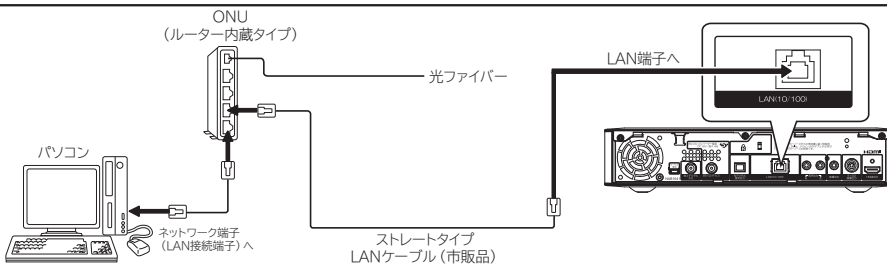
お知らせ

プロバイダーや回線業者によっては契約の内容によって接続できる機器の台数を制限している場合があります。ご契約内容やブロードバンドルーターなどのネットワーク機器の追加については、お使いのプロバイダーや回線業者にご確認ください。また、ご自身でブロードバンドルーターやハブを追加される場合は、それぞれの機器の販売店等にご相談ください。

接続例

ご利用の環境に応じ、以下の例を参考にして本機の LAN インターフェースを接続してください。
なお、以下の図ではパソコンを含んだ接続を例として記載していますが、本機でアクトビラなどサービスを受けるためのインターネット接続や、ご家庭内での AV ネットワーク機能のご利用にあたり、パソコンは必須ではありません。

ADSL の場合（1）：ADSL モデム（ルーター非内蔵タイプ）との接続

ADSL の場合（2）：ADSL モデム（ルーター内蔵タイプ）との接続（LAN 接続端子に空きがない場合）

ADSL の場合（3）：ADSL モデム（ルーター内蔵タイプ）との接続（LAN 接続端子に空きがある場合）

LAN インターフェースと接続する（つづき）

CATV の場合（1）：ケーブルモデム（ルーター非内蔵タイプ）との接続

CATV の場合（2）：ケーブルモデム（ルーター内蔵タイプ）との接続（LAN 接続端子に空きがない場合）

CATV の場合（3）：ケーブルモデム（ルーター内蔵タイプ）との接続（LAN 接続端子に空きがある場合）

FTTH の場合（1）：ONU またはメディアコンバーター（ルーター非内蔵タイプ）との接続

FTTH の場合（2）：ONU またはメディアコンバーター（ルーター内蔵タイプ）との接続

お守りください

●電話用のモジュラーケーブルは、LAN 端子の接続には使用できません。無理に挿入すると故障の原因となります。

お知らせ

● ADSL モデムやケーブルモデムとブロードバンドルーターやハブの接続については、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
●本機のブラウザはプロキシーサーバーに対応していますが、動画コンテンツサービスの多くはプロキシーに対応していません。そのようなサービスでプロキシーをご利用になると正常に視聴できない場合があります。
●本機でインターネット網に接続するには、回線業者やインターネットサービスプロバイダーとの契約が必要です。未契約の場合は、回線業者やプロバイダーと契約してください。
●回線業者やインターネットサービスプロバイダーとの契約によっては、本機やパソコンなどの端末を複数台接続できない場合や、追加料金が必要な場合があります。
●本機のインターネット接続は、アナログモデムおよび ISDN によるダイヤルアップ接続には対応しておりません。
●本機は、10BASE-T/100BASE-TX 規格に準拠した LAN インターフェースを装備しておりますので、この規格に準拠した LAN ケーブルを使用してください。
●アクトビラの動画コンテンツを視聴するときは、光ファイバー (FTTH) でのブロードバンド環境が必要です。100BASE-TX 対応のハブまたはブロードバンドルーターをご使用ください。また LAN ケーブルは「カテゴリ 5」以上のものをご使用ください。
●本機には、無線 LAN 機能は内蔵しておりません。無線 LAN 接続する場合、通信速度が安定しない場合など映像が乱れたり、途切れたりする場合がありますので、LAN ケーブルによる接続をおすすめします。
● ADSL モデムやスプリッター、ケーブルモデム、ブロードバンドルーター、ハブ、ケーブルなどは、回線業者やインターネットサービスプロバイダーとの契約をご確認の上、指定された製品を使って、接続や設定を行ってください。
● ADSL モデムやケーブルモデムについてご不明な点は、ご利用の ADSL 回線業者や CATV 事業者またはインターネットサービスプロバイダーにお問い合わせください。
●ブロードバンドルーターに固定 IP で接続する場合は、ISP 設定について 185 で「IP アドレス取得」を「手動」に選択し、必要な項目を設定してください。
●ブロードバンドルーターによっては、パソコンによる設定が必要な場合があります。このようなルーターを使用する場合は、パソコンを接続して設定を行ってください。
●本機では、アナログモデムによるインターネット接続を前提とするデータ放送サービスはご利用できません。
●本機の LAN 端子は、必ず電気通信端末機器の技術基準認定品ルーターなどに接続してください。

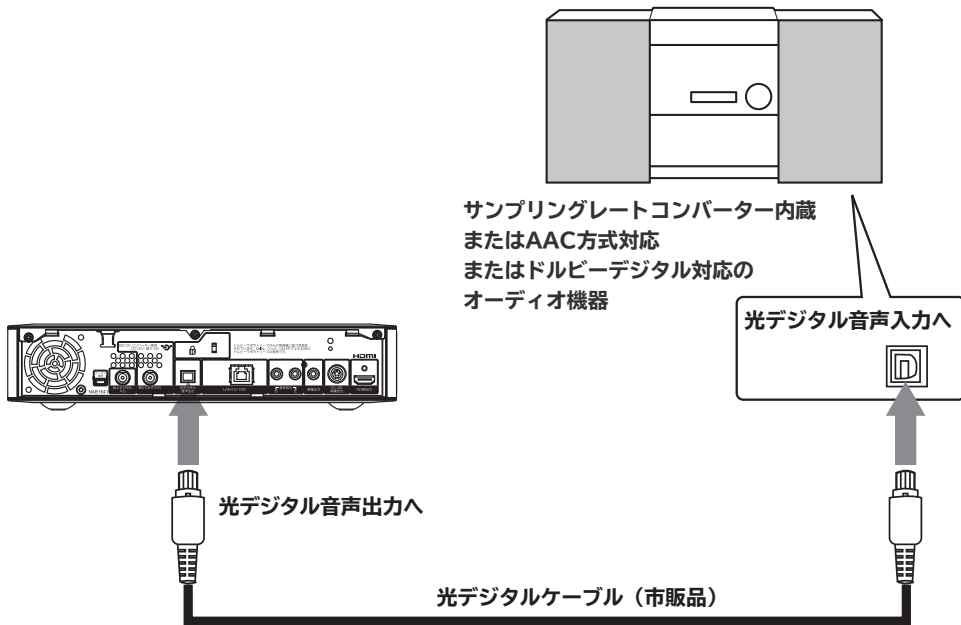
メ モ

ADSL(Asymmetric Digital Subscriber Line) について
従来の電話用メタリックケーブル上で実現される高速デジタル伝送方式の一つです。すでに一般家庭に広く普及している電話線を使って、インターネットへの高速で安価な常時接続環境を提供する技術です。

FTTH(Fiber To The Home) について
光ファイバーを家庭まで直接引き込み、超高速・広帯域の通信環境を提供するサービスのことです。CATV や ADSL を超える高速通信が可能です。

ONU(Optical Network Unit) とメディアコンバーターについて
光ファイバー加入者通信網における、パソコンなどの端末機器をネットワークに接続するための装置で、加入者宅に設置されます。

光デジタル音声入力端子付きオーディオ機器と接続する

本機の光デジタル音声出力端子に、光デジタル音声入力端子付きのオーディオ機器を接続することができます。
デジタル放送受信時には、MPEG-2 AAC 方式で出力することもできるので、AAC 方式対応のオーディオ機器と接続することで 5.1 チャンネルサラウンド音声の番組を臨場感あふれる音声でお楽しみいただけます。また、DLNA プレーヤーとして使用している場合に、ドルビーデジタル音声付き映像を再生するときに音声ドルビーデジタルで出力できます。AAC またはドルビーデジタル方式の出力をご利用になるには、「光デジタル音声出力」の設定変更が必要です。160

お守りください

接続時のご注意

- ●他の機器と組み合わせてご使用になるときにはそれぞれの取扱説明書をよくお読みください。
- ●接続の際は各機器の電源を切ってから行ってください。電源を入れた状態で接続すると、大きな音が出たり故障の原因となることがあります。
- ●他の機器との接続時、入出力端子をまちがえて接続すると、故障の原因になりますのでご注意ください。
- ●接続する他の機器、接続コードおよびアンテナ線が、テレビの画面または画面の後面に配置されますと、映像がゆれたり妨害を受ける恐れがあります。接続機器、接続コードおよびアンテナ線は上記の配置を避けてください。

お知らせ

- ●本機の光デジタル音声出力端子はフタでふさがっていますが、ドアのようになっています。光デジタルケーブルのプラグ部を持って、そのままゆっくりと端子にまっすぐに差し込んでください。
- ●本機は、放送局側の音声サンプリング周波数に対応した光デジタル音声信号を出力します。このため、AAC 方式対応のオーディオ機器以外では、サンプリングレートコンバーターを内蔵したアンプや MD レコーダーなどに接続してください。
- ●デジタル番組（AAC）は音声切換ボタンを押しても、光デジタル音声出力の音声は変わりません。オーディオ機器側で切り換えてください。
- ● AAC 方式またはドルビーデジタルの出力をご利用になるには、メニューの「光デジタル音声出力」を「オート」に設定する必要があります。160（お買い上げ時は、「PCM」に設定されています。）

メ　モ

AAC（Advanced Audio Coding）について
AAC とは、音声符号化の規格の一つです。AAC は、CD（コンパクトディスク）並の音質データを約 1/12 にまで圧縮できます。また、5.1 チャンネルのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

電源プラグを接続する

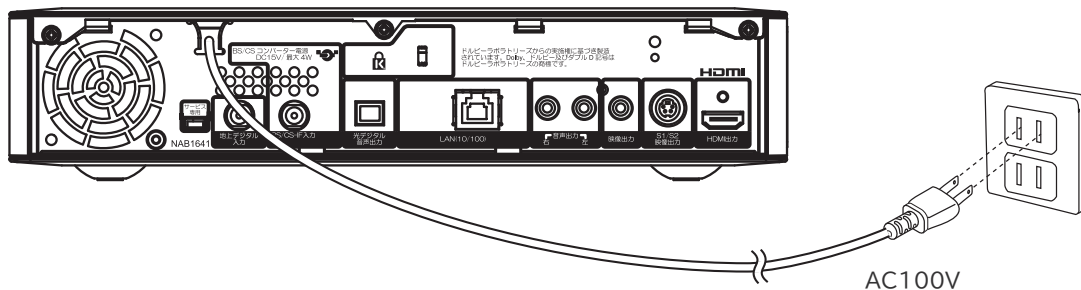
⚠警告

指定の電源電圧でご使用ください。表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠注意

●電源プラグをすぐに抜くことができるように本機を据え付けてください。本機が異常や故障となったとき、電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと火災・感電の原因となることがあります。

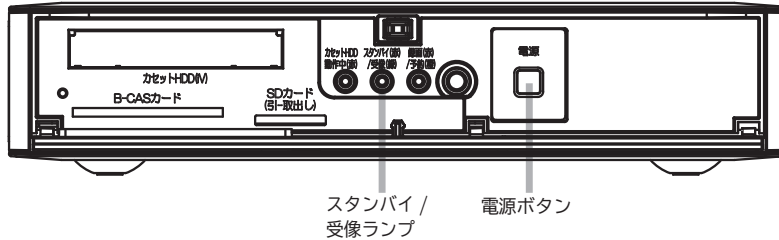
●旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

1 本機の電源プラグをコンセントに差し込む

電源を入れる

電源を入れる

1 **電源ボタンを押す**

本体のスタンバイ / 受像ランプが緑色に点灯し、電源が入ります。

●電源を切るときは、もう一度電源ボタンを押します。スタンバイ／受像ランプが赤色に点灯し電源がスタンバイ状態になります。

お知らせ

スタンバイ / 受像ランプについて

●スタンバイ / 受像ランプが赤色に点灯しているときに、リモコンまたは本体の電源ボタンを押すと電源が入ります。

●電源を「入」にしたあと、画面が出るまではスタンバイ／受像ランプ（緑色）が点滅します。

すぐに操作できるようにする（高速起動）

電源が切れている状態から操作がすぐにできるように設定できます。

メニュー「各種設定」の「高速起動」を設定してください。170

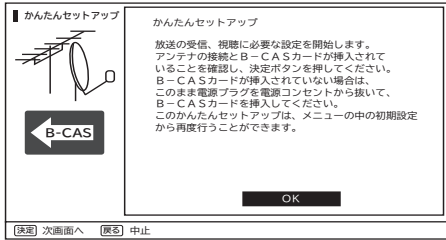
お知らせ

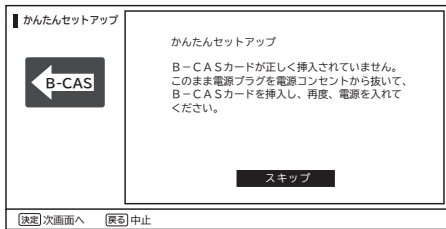
●高速起動を設定すると、電源を切ったときの待機消費電力が増加します。

かんたんセットアップをする

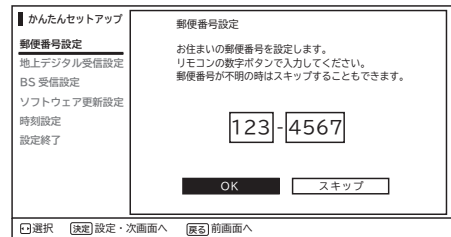
本機の電源をはじめて入れると、かんたんセットアップが自動的に起動します。かんたんセットアップはテレビ放送の視聴に必要な設定を行うための機能です。
メニューの「各種設定」－「初期設定」－「受信設定」画面の「かんたんセットアップ」から再度行うことができます。174
メニューの「各種設定」－「初期設定」－「受信設定」画面の「受信設定（地上デジタル）」等から個別に設定することもできます。175

かんたんセットアップ起動後・・・

1 決定を押す

- 決定を押すと、通常 / デモモード設定へ進みます。
- 戻るで、かんたんセットアップを終了します。

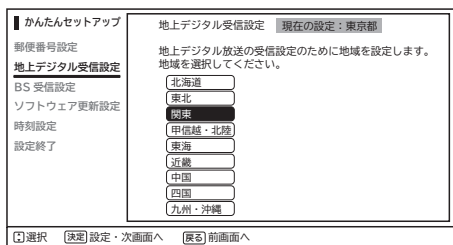
B-CAS カードが挿入されていない場合

電源プラグを電源コンセントから抜いて、B-CAS カードを挿入して、再度電源を入れてください。

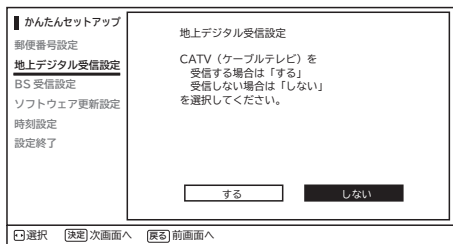
郵便番号を設定する

2 お住まいの地域の郵便番号 (7 桁) を1～10で入力し、◎で「OK」を選び、決定を押す

「スキップ」を選択すると、郵便番号を設定しないで次へ進みます。

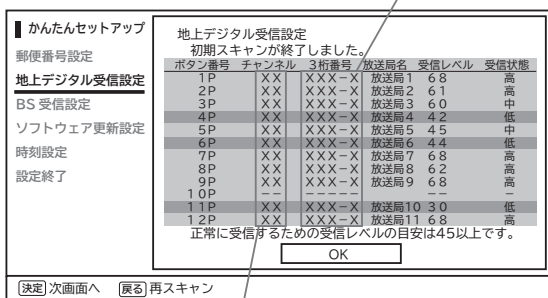
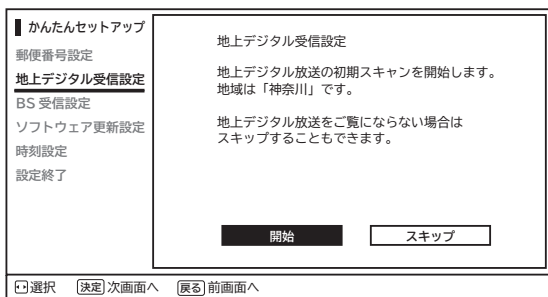
かんたんセットアップをする（つづき）

地上デジタルの受信設定をする

3 ◎でお住まいの地域を選び、決定を押す

「地域」「都道府県」の順に設定します。

4 ケーブルテレビを受信する場合は「する」、受信しない場合は「しない」を◎で選択し、決定を押す

5 ◎で「開始」を選び決定を押す 初期スキャン終了後、決定を押す

地上デジタル放送をご覧にならない場合は、「スキップ」を選択してください。地上デジタル放送の受信をしないで次に進みます。

ボタン番号	チャンネル	3桁番号	放送局名	受信レベル	受信状態
1P	XX	XXX－X	放送局1	68	高
2P	XX	XXX－X	放送局2	61	高
3P	XX	XXX－X	放送局3	60	中
4P	XX	XXX－X	放送局4	42	低
5P	XX	XXX－X	放送局5	45	中
6P	XX	XXX－X	放送局6	44	低
7P	XX	XXX－X	放送局7	68	高
8P	XX	XXX－X	放送局8	62	高
9P	XX	XXX－X	放送局9	68	高
10P	－－	－－－－－		－－	－
11P	XX	XXX－X	放送局10	30	低
12P	XX	XXX－X	放送局11	68	高

- ●初期スキャンが終了すると、受信状態の一覧が表示されます。
- ●受信状態が、「低」と表示されているチャンネルは、受信状態が悪くなっています。
  アンテナの接続が正しいか確認してください。33、34
  調節や取り替えが必要な場合もありますので、その際は販売店にご相談ください。

BS の受信設定をする

6 ◎で「連動」「切」「スキップ」のいずれかの項目を選び、決定を押す

連動　　：個別にアンテナを設置されている方
切　　　：マンション共聴や CATV などでご利用の方
　　　　　ビデオなどの他の機器からコンバーター電源を供給されている方
スキップ：BS 放送をご覧にならない場合

7 決定を押す

ソフトウェア更新設定をする

8 ◎で「自動」「する」「しない」のいずれかの項目を選び、決定を押す

自動　：更新を自動で実施します（推奨）
する　：更新をお知らせします
しない：更新をしません

お知らせ

日付・時刻の設定について

- BS・CS デジタル放送または地上デジタル放送を受信している場合は、デジタル放送の時刻情報で自動的に時刻を設定します。その場合、本ページの手順で日付・時刻を設定することはできません。
- アクトビラに接続する場合、日付・時刻が設定されている必要があります。

日付・時刻の設定をする

9 設定または変更したい箇所を◎で選び、◎で設定する
最後に「OK」を選んで決定を押す

かんたんセットアップの終了

10 決定を押し、かんたんセットアップを終了します

かんたんセットアップはメニューの受信設定から再度行うことができます。

お知らせ

- インターネット接続またはデータ放送で必要となる ISP 設定は、メニューの「ISP 設定」185 から行うことができます。

カセット HDD(iV) の取り扱い

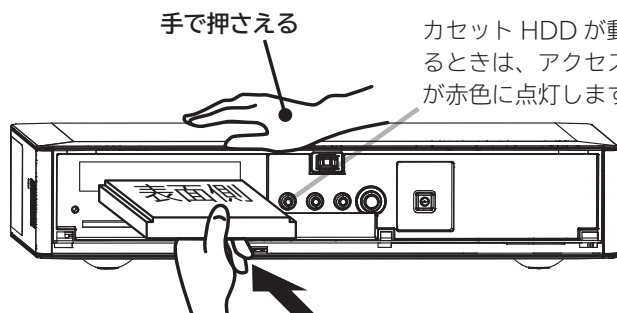
カセット HDD(iV) とは

カセット HDD は、iVDR(Information Versatile Device for Removable usage) 規格に準拠したカセット式のハードディスクです。別売のカセット HDD を接続することにより、HDD の高速 / 大容量を活かしたリムーバブルメディアとして利用できます。
デジタル放送はほとんどの番組はコピー制限付きです。コピー制限付き番組はセキュア対応のカセット HDD「iVDR-S」で録画することが出来ます。また、カセット HDD には標準タイプ、Mini タイプ、EX タイプの 3 種類のカートリッジがありますが、標準タイプのカートリッジのみご使用になれます。本機では日立マクセル株式会社製のカセット HDD「iV」（アイヴィ）[M-VDRS250G.A/500G.C]（別売）を推奨します。

カセット HDD(iV) を挿入口に入れる

カセット HDD を図のように挿入し、止まるまでゆっくりと押し込みます。
カセット HDD を認識すると以下のようなメッセージを表示します。
フォーマットされていないカセット HDD を挿入した場合は、画面の指示に従ってカセット HDD の初期化を実行してください。

手で押さえる

カセット HDD が動いているときは、アクセスランプが赤色に点灯します。

本体が動かないように本体を手で押さえ、カセット HDD の iVDR-S ロゴ面を上にして挿入が止まるまで、ゆっくり押し込んでください。
(正しく挿入されるとカセット HDD がロックされ、挿入口より約 5mm 出たところで止まります。)

カセット HDD を挿入口に挿入したときの画面表示

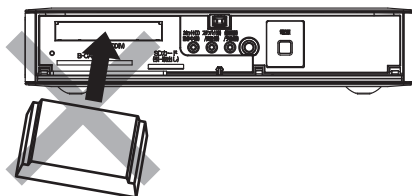
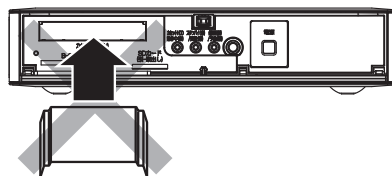
挿入されたカセットHDDを認識中・・・

⇩

挿入されたカセットHDDを認識しました

お守りください

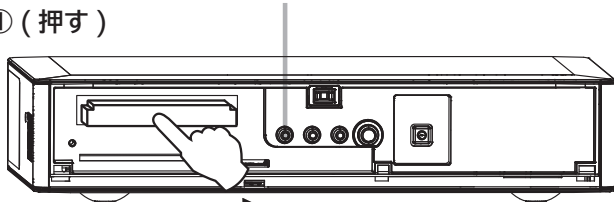
カセット HDD を挿入するときのご注意について

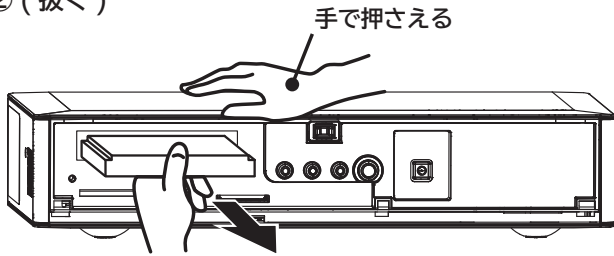
斜めに挿入したり、強い力で挿入しないでください。故障や破損の原因となります。

斜めに挿入

強い力で挿入

カセット HDD(iV) の取出方法

カセット HDD アクセス (動作中) ランプが消灯していることを確認してください。

カセット HDD アクセス (動作中) ランプ
カセット HDD が動いているときは、アクセスランプが赤色に点灯します。

① (押す)

挿入口から出ているカセット HDD を指で押し込んで、ゆっくり離してください。
(ロックが外れ、約 20mm 出てきます。)

② (抜く)

手で押さえる

本体が動かないように本体を手で押さえ、カセット HDD 本体をつまみ、ゆっくり引き抜いてください。

お守りください

●次の動作中に、カセット HDD を取り外したり、AC 電源プラグを抜かないでください。
カセット HDD の記録内容が損傷し、録画や再生が出来なくなる可能性があります。
・録画・再生・編集・ダビング中
・配信中 (DLNA)
・カセット HDD 認識中
・初期化中
・アクセス (動作中) ランプ点灯中

●カセット HDD 挿入口には、カセット HDD 以外のものを挿入しないでください。

●カセット HDD 挿入の前に、カセット HDD のコネクタ部に液体・ほこりなどの異物が付いていないことを確認してください。

●頻繁にカセット HDD を抜き差ししないでください。
コネクタ接触部が磨耗し接触不良などの故障の原因になります。

お知らせ

●カセット HDD は精密機器です。無理な力や衝撃を与えたり、落としたりしないでください。

●カセット HDD には、セキュア対応のカセット HDD「iVDR-S」、セキュア非対応のカセット HDD「iVDR」があります。

●セキュア対応のカセット HDD「iVDR-S」は、コピーワンス（1 回録画可能）やダビング 10 のデジタル放送を録画することができます。セキュア非対応のカセット HDD「iVDR」は、コピーワンス（1 回録画可能）やダビング 10 のデジタル放送は録画できません。

●パソコンでカセット HDD のフォーマットやファイル操作を行った場合、正常に使用できなくなる場合があります。

SD メモリーカードの取り扱い

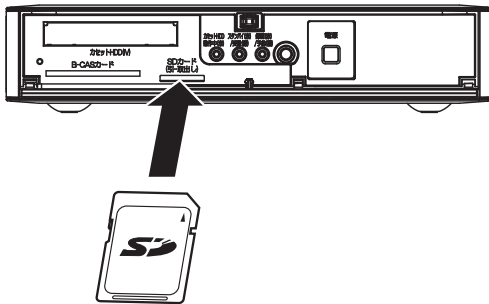
本機は、デジタルカメラで SD メモリーカードに記録した静止画像やデジタルハイビジョンビデオカメラで撮影したハイビジョン動画（AVCHD) を再生して、テレビ画面でご覧になることができます。105 107

お守りください

SD メモリーカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。

SD メモリーカードを入れる

1 SD メモリーカードを挿入する

SD メモリーカードには裏表があります。表面を上側に向けて、まっすぐ奥まで差し込んでください。

SDメモリーカード

SD メモリーカードの抜きかた

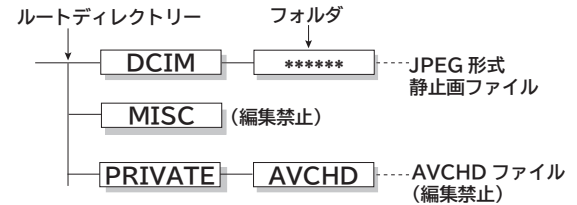
挿入されている SD メモリーカードを引いて取り出します。

お守りください

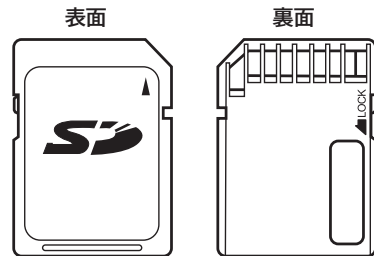
SD メモリーカードの取り扱いについて

●メモリーカードは精密機器です。曲げたり、無理な力や衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
●メモリーカードの金属部（電極）に直接触れたり、汚れをつけたりしないでください。
●メモリーカードを加工したり、分解したりしないでください。
●メモリーカードに水をかけたり、高温多湿の場所、または腐食性のある環境でのご使用･保管は避けてください。
●メモリーカードの持ち運びや保管時は、静電気や電気的ノイズの影響を受けないように注意してください。静電気や電気的ノイズの影響を受けると、記録したデータが消滅（破壊）することがあります。
●メモリーカードの画像を見ているときは、本機の電源を切ったり、メモリーカードを抜かないでください。メモリーカードのデータが破壊されることがあります。

お知らせ

フォルダ構造について

●表示可能な「JPEG 形式静止画ファイル」のフォルダ階層は、最大 10 階層ですが、フルパス名（ファイルの所在を示すフォルダ名とファイル名をあわせたもの）の文字数は、最大 245 文字 (半角) です。
●ファイル名やフォルダ名を変更すると、静止画／動画の再生ができなくなることがあります。

SD メモリーカードについて

●ＳＤメモリーカード（SD™）は、著作権保護機能を内蔵したほぼ切手サイズの小型メモリーカードです。

●マルチメディアカードは使用できません。
●メモリーカードに記録されている容量によっては記録されている画像をすべてご覧になれない場合があります。
● SD メモリーカードによっては、本機で動作しない場合があります。
●本機は 2GB までの SD メモリーカードおよび 32GB までの SDHC メモリーカードの動作を確認しています。
● micro ＳＤメモリカードをご利用の場合は、ＳＤメモリーカード変換アダプターに装着してご使用ください。

接続するテレビに合わせて設定する

本機に接続するテレビの種類に応じて、テレビ画面の縦横比や接続端子などを設定します。

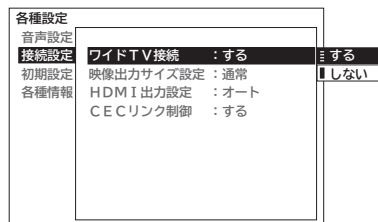
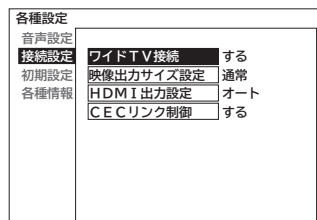
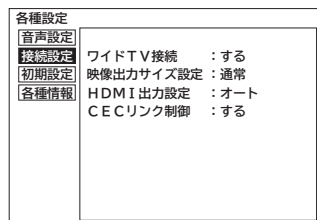
1 メニュー を押す

メニュー画面が現れます。

2 ◎で「各種設定」を選び、◎ / 決定を押す

3 ◎で「接続設定」を選び、◎ / 決定を押す

接続設定メニューが表示されます。

4 ◎で設定したい項目を選び、◎ / 決定を押す

5 ◎で設定する内容を選び、決定を押す

6 設定が終了したら◎ / 決定を押す

7 メニュー を押し、メニューを消す

接続するテレビに合わせて設定する（つづき）

設定項目	(○)	内容
ワイド TV 接続	する / しない	本機にワイド TV を接続している場合は「する」。接続していない場合は「しない」を設定します。
映像出力サイズ設定	通常 / 縮小	映像出力端子や S 映像出力端子から出力する映像信号のサイズを設定します。 映像の端が見えない場合は「縮小」を選択します。
HDMI 出力設定	オート /1080p /1080i /480p	HDMI 出力端子から出力する映像信号の解像度を設定します。 「オート」：テレビ側で表示できる最大の解像度の映像信号を判別し出力します。 「1080p」：1080p の映像信号を出力します。 「1080i」：1080i の映像信号を出力します。 「480p」：480p の映像信号を出力します。
ＣＥＣリンク制御	する / しない	CEC リンクの機能を使用する場合に「する」に設定します。

お知らせ

- CEC リンクは HDMI-CEC(Consumer Electronics Control) と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール方式を使用しています。
- HDMI-CMC リンク機能に対応したテレビと接続し、連携した操作が可能です。
  - ・本機で録画番組などを再生すると、テレビの電源が自動で入り、入力が切り換ります。
  - ・テレビの電源をスタンバイまたは「切」にすると、本機の電源が自動でスタンバイ状態になります。
- 接続するテレビにより操作できる機能は異なります。すべての HDMI-CEC 対応テレビとの連係動作を保証するものではありません。

テレビを楽しむ

テレビ放送を見る…… 56

■ データ放送を見る …… 58
■ 裏番組をチェックする …… 58

電子番組表 (G ガイド) でお好みの番組を選ぶ…… 59

番組説明を見る…… 61

番組検索（さがす）でお好みの番組を選ぶ…… 62

■ おすすめ番組一覧でさがす …… 63
■ 注目番組一覧でさがす …… 63
■ ジャンル、出演者、キーワード、お好みで番組をさがす …… 64

複数の映像、音声からお好みのものを選ぶ…… 67

番組タイトルやチャンネル番号などを知りたいとき…… 68

ステレオや 2 ヶ国語音声に切り換える …… 69

字幕放送を見るには…… 69

インフォメーションを確認する…… 70

■ お知らせ・ボードを見る …… 70
■ カード情報を見る …… 70

テレビ放送を見る

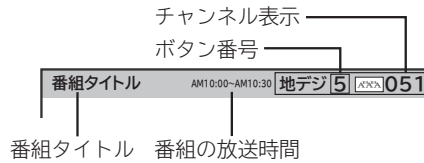
本機は、地上デジタル放送（地デジ）、BS デジタル放送（BS) および 110 度 CS デジタル放送（CS) をご覧になることができます。

1 電源を押す

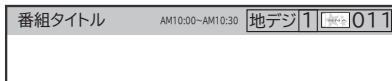
本体のスタンバイ / 受像ランプが緑色に点灯し、前に見ていたチャンネルが現れます。
電源を切るときは、もう一度押します。

2 地デジ BS CS を押して、ご覧になりたいデジタル放送を選ぶ

地デジ BS CS を押すと、最後に選んでいたチャンネルが選局されます。

3

チャンネルボタンで選ぶ

1 ～ 12 でチャンネルを選ぶ

画面右上に選んだチャンネルが表示されます。
表示は約 6 秒で自動的に消えます。

- チャンネル を使ってチャンネルを順逆送りで選ぶこともできます。
- デジタル放送によって複数チャンネルで放送されている場合、チャンネルボタンで選んだあと、チャンネル を使ってサブチャンネルを選ぶこともできます。

番号で直接選ぶ（番号入力選局）

選局したいチャンネル番号があらかじめ分かっている場合は、3 桁のチャンネル番号を入力して選局できます。

①Ch番号入力を押す

チャンネル番号入力画面が表示されます。

Ch番号入力

---

②ご覧になりたいチャンネル番号を入力する（1 ～ 10）

例：チャンネル番号 021 を選局する場合

地デジ 2 021

- BS や CS デジタル放送をご覧になっているときは、チャンネル番号入力の前に、BS、CS が表示されます。
- 地上デジタル放送の場合、3 桁のチャンネル番号が県外の放送局と重複する場合があります。この場合は、4 桁目の番号（枝番）を入力してください。

番組やチャンネルのその他の選びかた

■番組表 59
（番組表を見ながら選局や予約ができます。）

■番組検索 (さがす) 62
（番組の一覧を見ながら選局や予約ができます。）

4 番組を楽しむ（視聴する）

そのまま楽しむことができます。

現在時刻以降の番組

ご覧になるには、予約登録が必要です。
予約の方法については 76 をご覧ください。

視聴制限対象になる番組

ご覧になるには、暗証番号の入力が必要です。
（視聴制限「する」に設定されている場合）

視聴制限の対象になる番組を選んだ場合 167 をご覧ください。
設定方法については、視聴制限の設定 167 をご覧ください。
お買い上げ時、視聴制限は「しない」に設定されています。

5 TV音量 で音量を調節する

メ　モ

スタンバイ／受像ランプについて

●スタンバイ／受像ランプが赤色に点灯しているときは、電源は「スタンバイ」状態になっています。リモコンまたは本体電源ボタンで電源を「入」にすることができます。

●電源を「入」にしたあと、画面が出るまではスタンバイ／受像ランプ (緑色）が点滅します。

チャンネルアップ / ダウン選局について

●チャンネルアップ／ダウンボタンにより、１チャンネルずつ順／逆送りで選局したり、選局可能な前後のチャンネル情報を表示しながら順／逆送りで選局することができます。168

●チャンネルスキップ設定 (179 , 182) により順逆送りするチャンネルが異なります。なお、チャンネルの設定については (178 , 181) をご覧ください。

●チャンネルアップ / ダウンできるチャンネルは、BS、CS、地上デジタルの各サービスモード内だけとなります。

地上デジタル放送について

地上デジタル放送をご覧になるときは、地上デジタルチャンネル設定（CH 合せ（地域名））175を行うことが必要です。

番組タイトル表示について

選局時の「 番組タイトル表示 」を表示しないようにできます。168

番号入力選局について

チャンネル番号を正しく入力しなかったときや約 5 秒以内に次の番号を押さなかったときは、選局動作をしません。

お買い上げ時のプリセット設定について

お買上げ時のプリセット設定は、下表の通りです。プリセットされているチャンネルは変更ができます。181

ボタン番号	BS		CS	
①	101ch	NHK BS1	055ch	ショップチャンネル
②	102ch		100ch	e2 プロモ
③	103ch	NHK BS プレミアム	110ch	ワンテンポータル
④	141ch	BS 日テレ	—	
⑤	151ch	BS 朝日	160ch	C-TBS ウェルカム
⑥	161ch	BS-TBS	185ch	プライム 365.TV
⑦	171ch	BSJ(BS ジャパン)	—	
⑧	181ch	BS フジ	—	
⑨	191ch	WOWOW プライム	—	
⑩	200ch	スター・チャンネル 1	—	
⑪	211ch	BS11	—	
⑫	222ch	TwellV(トゥエルビ)	—	

※チャンネル変更などにより選局できない場合もあります。(2011 年 12 月現在)

予約録画・自動録画の開始について

●予約録画や自動録画を開始するとき、予約したチャンネルを自動的に選択します。

● 1 番組を録画または予約録画・自動録画する場合は、録画中に他のチャンネルに切り換えて視聴できます。

● 2 番組同時に録画または予約録画・自動録画する場合は、録画中のチャンネルのみ視聴できます。

お守りください

動作中に停電になったときのご注意

テレビが動作中に停電になった場合、停電の回復とともに電源が入ります。外出するときは、本体の電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

お知らせ

●電源を入れたときは、画面が出画するまで 15 秒程度の時間がかかることがあります。

●電源を入れて画面が出画するとき、デジタル放送の場合でもチャンネル番号表示はされますが､ロゴマークは表示されないことがあります。

●選んだ番組によって、以降の操作が異なります。
・視聴制限の対象になる番組を選んだとき 167

テレビ放送を見る（つづき）

データ放送を見る

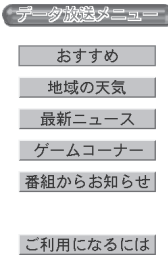
デジタル放送では、放送局より送られてくる画面情報に従い操作することで、いろいろな情報をご覧になることができるデータ放送があります。
データ放送画面で操作できる内容は放送局により変わります。ここでは、テレビ番組に関連したデータ放送が行われた場合を例に説明しています。

1 d連動データボタンを押す

データ放送画面が表示されます。
画面表示以外のメニュー画面などを表示している場合、メニュー画面などを終了させてから d 連動データボタンを押してください。

2 ◎で項目を選び、決定を押す

項目の選択方法や選択状態を示す方法、操作するボタンなどは番組によって異なります。画面の指示に従って操作してください。

データ放送メニュー
- おすすめ
- 地域の天気
- 最新ニュース
- ゲームコーナー
- 番組からお知らせ
- ご利用になるには

3 データ放送を終了したい場合は、画面の指示に従って操作する

指示がない場合は、d連動データボタン、戻るボタンで終了できる場合もあります。

裏番組をチェックする

現在視聴している番組の裏番組情報（デジタル放送）や録画済みの番組をチャンネルを切り換えずに確認することができます。

1 裏番組を押す

裏番組チェック画面が表示されます。

2 ◎で放送 (地上デジタル /BS デジタル / CS デジタル / 録画番組) を選択し、◎で CH/ 録画番組を選択する

番組情報を確認することができます。

裏番組を選局または録画番組を再生するには

決定を押す

3 戻るを押す

終了します。

お知らせ

- データ放送画面は、チャンネルや画面内容によっては、表示されるまでにかなり時間がかかる場合（2分位）がありますが、故障ではありません。
- 操作のしかたは番組の内容によって異なります。画面の指示に従って次のボタンを使用します。
  カーソルボタン / 戻るボタン / 数字ボタン（1～10）/ カラーボタン（青、赤、緑、黄）/ 決定ボタン / d連動データボタン

お知らせ

- データ放送視聴中は利用できません。

電子番組表 (G ガイド) でお好みの番組を選ぶ

本機はデジタル放送の番組を、新聞のテレビ欄のように表示できます。
表示される番組は、BS、CS、地上デジタル放送ごとにサービス別で表示されます。

1 [番組表]を押す

デジタル放送を見ているときに[番組表]を押すと、受信している放送の番組表画面が表示されます。

2 [◎]で番組を選ぶ

- 放送中の番組を選び、[決定]を押すと番組説明が表示されます。また、その番組を選局するときは「選局する」を選び[決定]を押します。
- これから放送される番組を選び、[決定]を押すと、予約画面になります。予約の方法については 76 をご覧ください。
- 左右端から◎で 1 チャンネルごとに表示チャンネルが切り換わります。
- 上下端から◎で 1 時間ごとに、表示時間が切り換わります。
- [チャンネル]でページを切り換えることができます。
- 番組表の表示内容を変更することができます。60

3 [戻る] を押す

終了します。

メ モ

- 放送局の都合により、番組が変更になることがあります。このようなときは、実際の放送と番組表の内容が一致しないことがあります。
- 放送局によって複数のチャンネルで放送されている場合、選んでいるチャンネルの番組表の右または左にサブチャンネルが縦の青色の帯で表示されます。◎でサブチャンネルの番組表を選び表示することができます。

お知らせ

- 番組情報は、本機内部に事前に受信した内容が表示されます。お買い上げ時や電源を入れたときなどは、しばらく何も表示されないことがあります。
- 番組情報は送られていない場合もあります。番組情報が表示されていないときは、放送中の時間でも選局できません。
- 番組間が青色で表示されている部分には、番組名を表示できない放送時間の短い番組が存在します。
- 現在時刻より数時間前までの番組を表示することができます。
- CH スキップ設定で「スキップ」を「する」にしたチャンネルは表示されません。179 182
- 番組によっては、前の番組の終了時間と次の番組の開始時間が 1 分間重なって表示される場合があります。これは、秒単位を繰り上げまたは繰り下げ処理をして表示しているもので、故障ではありません。

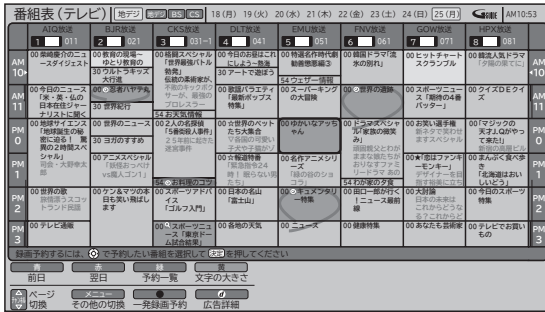
番組表画面について (「標準」表示の場合)

電子番組表(Gガイド)でお好みの番組を選ぶ(つづき)

お好みに合わせて設定する

お好みに合わせて、電子番組表の表示内容を変更することができます。

1 [番組表]を押す

番組表が表示されます。

2 [メニュー]を押し、(◎)で設定したい項目を選び、(◎) / (決定)を押す

(◎)で設定内容を選び(決定)を押します。

設定項目	設定内容
標準 / チャンネル別表示	「標準」：新聞のテレビ欄のように表示します。 「チャンネル別」：一つのチャンネルを曜日ごとに表示します。
マルチ表示	マルチ表示したい放送（「地デジ」､「BS/CS」）を選び(決定)を押すと､チェックマーク ☑ が表示され､「マルチ表示する」に設定されます。設定を解除したいときは、再度放送を選び(決定)を押します。 「マルチ表示する」：１つのチャンネルに複数サービスがある場合、複数のサービスを表示します。 「マルチ表示しない」：１つのチャンネルに複数のサービスがある場合、任意の１チャンネル分を表示します。表示されないチャンネルは縦の青色の帯で表示されます。
テレビ / データ / ラジオ	テレビ、データ放送、ラジオのサービスに切り換えることができます。 サービスが行われていない場合は、選択できません。
ジャンル色分け	番組のジャンル別（映画、ドラマ、アニメ、スポーツ、音楽）に色分けすることができます。色分けしたいジャンルを選び(決定)を押すと、チェックマーク ☑ が表示されます。設定を解除したいときは、ジャンルを選び(決定)を押します。
画面デザイン	画面の配色を「マイルドグレー」または「クールブラック」に設定することができます。 お買い上げ時は「マイルドグレー」に設定されています。 ●番組表の画面デザインを変更すると、予約一覧、予約設定の画面にも反映されます。 91
ガイドエリア表示	「操作ガイド」：操作ガイド表示エリアに、操作ガイドを表示します。（お買い上げ時の設定） 「番組情報」：操作ガイド表示エリアに、カーソルで選択された番組の番組情報を表示します。

●[黄]：表示数 / 文字サイズを切り換えます。
「8 列 / 文字サイズ小」：8ch ×６時間または８日 × ６時間の範囲を表示します。
「6 列 / 文字サイズ大」：6ch × 4 時間または 6 日 ×4 時間の範囲を表示します。

3 設定が終了したら [戻る] を押す

4 [メニュー]を押して、メニューを消す

終了します。

お知らせ

番組表について

番組表のチャンネル表示の並び順を任意に変更することはできません。

G ガイドパネル広告について

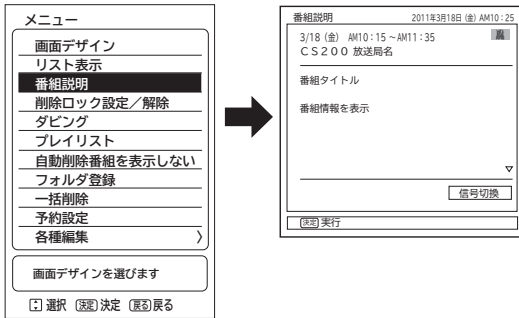
G ガイドパネル広告は、表示されないことがあります。(Gガイドデータ未取得時および電源オン直後)
この場合は、あらかじめ本機で準備している画像を表示します。

番組説明を見る

本機はデジタル各放送局の番組データを利用し、現在ご覧になっている番組の画面上に、番組タイトルや放送時間などの情報を表示することができます。見る一覧画面で録画した番組の番組情報も表示することができます。

1 番組説明 を押す

番組説明画面が表示されます。

●見る一覧画面時 (各録画番組を選択している場合) は、メニュー を押し、◎で「 番組説明 」を選び、決定 を押します。

△▽マークが表示されているときは、1 画面に表示しきれない番組説明があります。◎で表示を切り換えることができます。

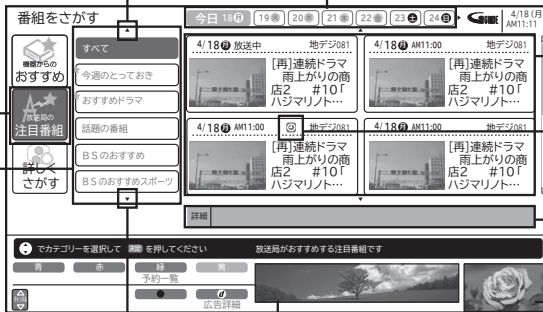
2 戻る を押す

終了します。

番組検索（さがす）でお好みの番組を選ぶ

おすすめ番組、注目番組、詳しくさがす（ジャンル、出演者、キーワード、お好み）で、見たい番組や録画したい番組を素早くさがすことができます。

■ おすすめ番組画面について

■ 注目番組画面について

■ 詳しくさがす画面について

メモ

現在時刻の表示は放送局から送られてきます。

おすすめ番組一覧でさがす

「機器からのおすすめ」は、予約登録や録画した番組情報をもとに、ご利用されている方のお好みを独自の技術で解析し、将来の番組の中からおすすめの番組を表示する機能です。

準　備

お買い上げ時またはおすすめ履歴の初期化**163****を行ったときは、最初に初期設定画面が表示されます。設定方法については、「おすすめ番組の初期設定について」****162****をご覧ください。**

1 さがす を押す

番組をさがす画面が表示されます。

2 ◎ で「機器からのおすすめ」を選び、◎ / 決定 を押す

おすすめ番組画面が表示されます。

3 ◎ でさがしたい番組のジャンルを選び、◎ / 決定 を押す

4 ◎ で番組を選び、決定 を押す

予約設定 / おすすめ番組詳細画面が表示されます。

お知らせ

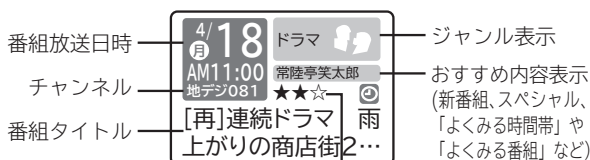
- ●ＣＳ放送は、おすすめ番組としておすすめされません。
- ●予約設定画面で、「この番組に興味がない」を選ぶと、関連する番組をおすすめしないように学習します。
- ●おすすめ番組の更新は、１日１回行ないます。更新する時間は、録画予約などの状態によって変更されます。

注目番組一覧でさがす

放送局がおすすめする番組一覧から、ご覧になりたい番組を録画予約したり、番組を素早くさがすことができます。

1 さがす を押す

番組をさがす画面が表示されます。

2 ◎ で「注目番組」を選び、◎ / 決定 を押す

おすすめ番組画面が表示されます。

3 ◎ でさがしたいカテゴリジャンルを選び、◎ / 決定 を押す

4 ◎ で番組を選び、決定 を押す

予約設定 / 注目番組詳細画面が表示されます。

お知らせ

- ●Gガイド情報が未取得の場合は、注目番組一覧に番組は表示されません。200
- ●使用状況によっては表示しないこともあります。200
- ●Gガイド情報は変更になることがあります。
- ●日付情報が無い場合は予約できません。

番組検索（さがす）でお好みの番組を選ぶ（つづき）

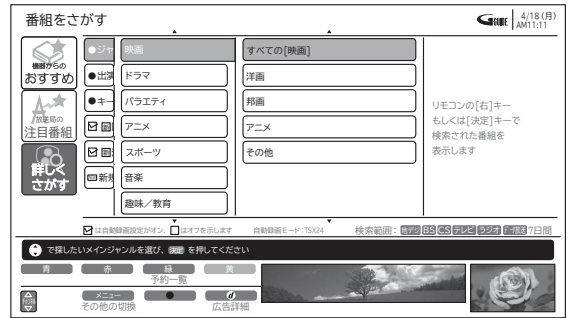
ジャンル、出演者、キーワード、お好みで番組をさがす

４つのグループ（ジャンル、出演者、キーワード、お好み）から番組を検索することができます。
お好み設定で、ジャンルやキーワードなどを設定したいときは、164をご覧ください。

1　さがす を押す

番組をさがす画面が表示されます。

2　◎ で「詳しくさがす」を選び、◎ / 決定 を押す

詳しくさがす番組画面が表示されます。

3　ジャンルで番組を探す

① ◎ で「ジャンル」を選び、◎ / 決定 を押す

「メインジャンル」が表示されます。

② ◎ で「メインジャンル」を選び、◎ / 決定 を押す

「サブジャンル」が表示されます。

③ ◎ で「サブジャンル」を選び、◎ / 決定 を押す

④ ◎ で番組を選び、決定 を押す

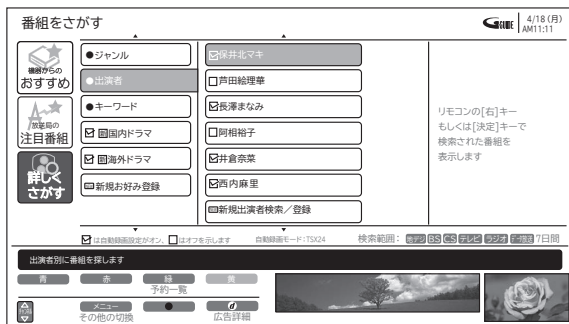
予約設定画面が表示されます。

● 検索するジャンルによっては、すべて表示されるまでに時間がかかることがあります。

出演者で番組を探す

G ガイドの出演者情報から該当する番組の検索を行うことができます。

① ◎ で「出演者」を選び、◎ / 決定 を押す

出演者検索画面が表示されます。

② ◎ で登録した出演者名を選び、◎ / 決定 を押す

出演者で検索された番組が表示されます。

③ ◎ で「番組」を選び、決定 を押す

予約設定画面が表示されます。

新規出演者を登録するには

① ◎ で「新規出演者検索／登録」を選び、◎ / 決定 を押す

② ◎ で「 あ行～わ行 」－「 出演者 」を選び、青 を押す

出演者が追加されます。

- 「あ行～わ行」は、リモコンの数字キーでも直接選択できます。同じボタンを続けて押すと、同じ行内を順番に表示します。
- Gガイド情報が未取得の場合は、登録できません。
- おすすめ番組設定の「よく録画する出演者」からも「出演者」を登録できます。163
- 登録している「出演者」を選んで 赤 を押すと、「出演者」を削除できます。
- 出演者は最大７名まで登録できます。

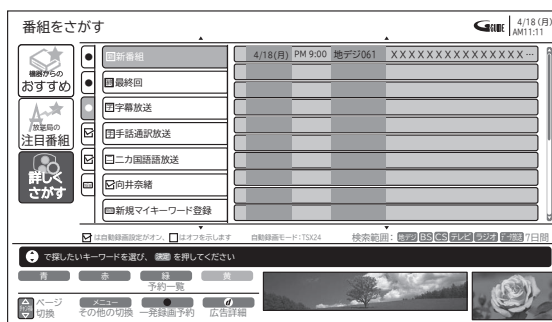
キーワードで番組を探す

番組記号 (新番組や字幕放送など) やユーザーが任意に登録したキーワードから番組検索を行うことができます。
登録したキーワードで検索した番組を自動的に録画することもできます。

① ◎ で「キーワード」を選び、◎ / 決定 を押す

キーワード検索画面が表示されます。

② ◎ で「新番組」などのキーワードを選び、◎ / 決定 を押す

キーワードで検索された番組が表示されます。

③ ◎ で「番組」を選び、決定 を押す

予約設定画面が表示されます。

番組検索（さがす）でお好みの番組を選ぶ（つづき）

新規マイキーワードを登録するには

① ◎ で「新規マイキーワード登録」を選び、
◎ / 決定 を押す

② キーワードを入力する

文字の入力については、「文字入力する」115 をご覧ください。

●登録している「キーワード」を選んで [赤] を押すと、「キーワード」を削除できます。
●キーワードの文字数は、最大 15 文字まで登録できます。
●キーワードは、最大７個まで登録できます。

お好みで番組を探す

番組のジャンルやユーザーが設定したキーワード、出演者を複数組み合わせて番組検索を行うことができます。
登録したお好み条件で検索した番組を自動的に録画することもできます。
●お買い上げ時は、以下の「お好み検索」が設定されています。
・劒 国内ドラマ
・劒 海外ドラマ
●お好み検索を設定/変更したいときは、164 をご覧ください。

複数の映像、音声からお好みのものを選ぶ

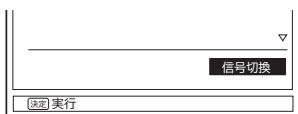
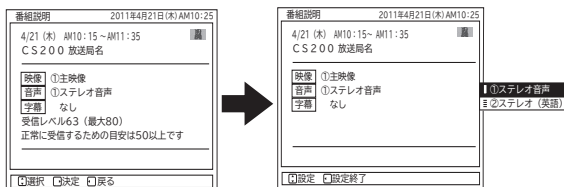
番組により、映像や音声などの信号を切り換えて楽しむことができます。
切り換え可能な信号の内容は番組によって異なります。切り換えた信号が有料な場合もあります。
字幕表示の設定もできます。69

1 番組説明 を押す

番組説明画面が表示されます。

●見る一覧画面時（各録画番組を選択している場合）は、メニュー を押し、◎で「番組説明」を選び、決定を押します。

2 「信号切換」で、決定を押す

信号切換画面が表示されます。

3 ◎で設定する項目を選び、◎／決定を押し、◎で設定する

映像	複数の映像がある場合は切り換えができます。 マルチビュー放送の場合、映像の切り換えに連動して音声も自動で切り換わります。
音声	複数の音声がある場合は切り換えができます。
字幕	複数の字幕がある場合は切り換えができます。 「なし」を選択すると字幕は表示されません。

4 設定が終了したら◎／決定を押す

5 戻るを押す

終了します。

お知らせ

●映像や音声の名称が放送局側から送られている場合は、送られてきた名称を表示します。
●字幕のある番組で一度字幕ありに設定すると、字幕のある番組では常に字幕を表示します。
●お買い上げ時は、字幕は「なし」に設定されています。
●複数の音声があるデジタル放送の番組を TS モードで HDD やカセット HDD に録画し再生した場合、通常再生のときは複数の音声を切り換えることができますが、1.3 倍再生および 0.8 倍再生では複数の音声を切り換えることができません。通常再生に戻してから音声を切り換えてください。

メ モ

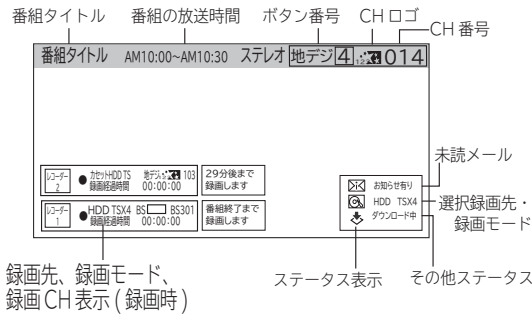
●「信号切換」画面で、受信レベルを確認することができます。
●メニューの「各種設定」－「初期設定」－「受信設定」－「受信設定（地上デジタル）」または「受信設定（BS･CS）」－「CH合せ」画面からも確認できます。175, 181

番組タイトルやチャンネル番号などを知りたいとき

1 画面表示を押す

ご覧のチャンネルの番号、番組タイトル録画モード等が画面に表示されます。表示は約６秒で自動的に消えます。

マークについて

このマークは、デジタル放送の未読メールがあるときに表示されます。表示を消すこともできます。168

画面表示例

●テレビ放送のとき			
	地上デジタル放送	BS デジタル放送	CS デジタル放送
モノラル放送時	地デジ 1 012 / 1 012-1（ロゴ／枝番）	BS 1 BS103	CS 3 CS100
ステレオ放送時	ステレオ 地デジ 1 012 / 1 012-1	ステレオ BS 1 BS103	ステレオ CS 3 CS100
二重音声放送時	主 地デジ 1 012 / 1 012-1	主 BS 1 BS103	主 CS 3 CS100

● HDD/ カセット HDD 録画 / 再生のとき

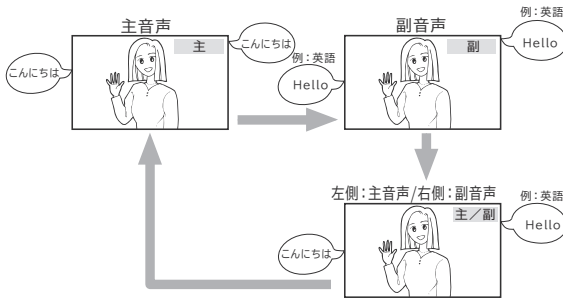
各動作モードが表示されます。75、91 などをご覧ください。

ステレオや２ヶ国語音声に切り換える

二重音声放送およびステレオ放送 (HDD/ カセット HDD 再生含む) のときには、2 ヶ国語（二重）音声、ステレオ音声など音声内容を選ぶことができます。

二重音声放送のとき

1 音声切換を押す

ボタンを押すごとに、図のように切り換わります。

●画面に音声モードが表示されている時に、音声切換を押して切り換えてください。

ステレオ放送のとき

ステレオ放送が始まると自動的にステレオ音声になります。

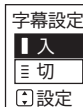
お知らせ

●デジタル放送では、複数音声の番組が放送される場合があります。複数音声放送の場合も、音声切換ボタンで音声内容を選ぶことができます。
●複数の音声がある場合は、以下のように先頭に数字が表示されます。
・第一音声が主の場合　………… ①主
・第二音声がステレオの場合　… ②ステレオ
●「番組説明」の信号切換でも切り換えることができます。67
●複数の音声があるデジタル放送の番組を TS モードで HDD やカセット HDD に録画し再生した場合、通常再生のときは複数の音声を切り換えることができますが、1.3 倍再生および 0.8 倍再生では複数の音声を切り換えることができません。通常再生に戻してから音声を切り換えてください。
●ステレオ番組やモノラル番組のときは、音声切換ボタンを押しても、音声は切り換わりません。
●モノラル番組のときは、音声切換ボタンを押しても表示されません。

字幕放送を見るには

字幕のある番組では字幕を表示することができます。

1 字幕を押す

2 ◎で切 / 入を設定する

「入」: 字幕のある番組では字幕を表示します。
「切」: 字幕は表示されません。
お買い上げ時は、字幕は「切」に設定されています。

3 戻るを押す

終了します。

お知らせ

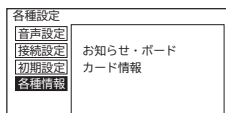
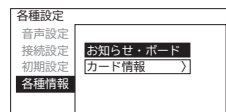
●字幕のある番組で一度字幕ありに設定すると、字幕のある番組では常に字幕を表示します。
●複数の字幕がある場合は、「番組説明」の信号切換で切り換えることができます。67

インフォメーションを確認する

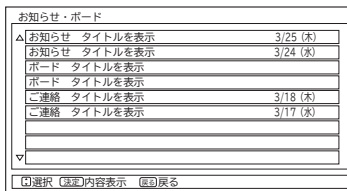
「お知らせ・ボード」を見る

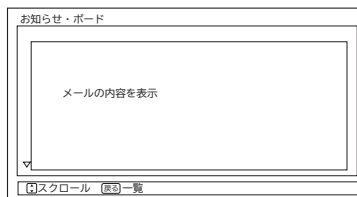
お知らせは、デジタル放送している局からお客さまへ送られるメッセージです。内容を必ず確認してください。
ボードは、CS 放送での「放送局からのお知らせ」です。
ご連絡には、ソフトウェアを書き換えるためのダウンロード情報などがあります。

26 の操作で「各種設定」の「各種情報」画面を表示し、次の操作で設定を行います。

1 で「各種情報」を選び、 / 決定を押す

2 で「お知らせ・ボード」を選び、 / 決定を押す

3 で見たいお知らせ・ボードを選び、決定を押す

内容を確認していないお知らせの場合、お知らせ(未読)またはご連絡(未読)と表示されます。

4 内容を確認する

続きの内容を見るときは、を押します。

5 メニュー を押して、メニューを消す

お守りください

B-CAS カードが挿入されていないとお知らせは受信できません。

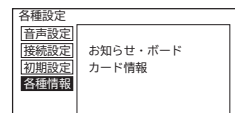
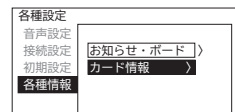
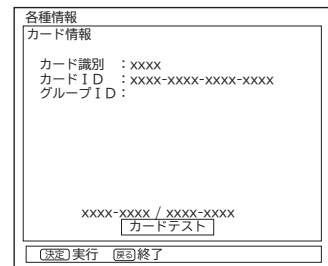
お知らせ

放送局から送られてくるお知らせは 31 通まで記録されます。31 通を超えた場合、古いお知らせから自動的に削除されます。

カード情報を見る

B-CAS カードの番号や動作の確認ができます。

26 の操作で「各種設定」の「各種情報」画面を表示し、次の操作で設定を行います。

1 で「各種情報」を選び、 / 決定を押す

2 で「カード情報」を選び、 / 決定を押す

3 カードテストを行う場合は、決定を押す

- B-CAS カードが正常な場合は、「正常に動作しています」と表示されます。
- 正常に動作していない場合は、「B-CAS カードの挿入」をご覧になり、カードが正しく挿入されているかなどをご確認ください。36

4 メニュー を押して、メニューを消す

お知らせ

グループ ID は表示されないことがあります。